

平成23年度

かながわ文化芸術振興計画 年次報告

平成25年 3月

# 目 次

## I 基本的な施策の実施状況

### 1 県民の文化芸術活動の充実

(1) 県民の文化芸術活動の充実 .....	1
(2) 地域の伝統的な文化芸術の保存、継承、活用 .....	6
(3) 芸術家等の育成等に関する支援等 .....	8
(4) 文化芸術団体の育成等 .....	11
(5) 子どもの文化芸術活動の充実 .....	12
(6) 学校教育における文化芸術活動の充実 .....	14
(7) 高齢者、障害者等の文化芸術活動の充実 .....	16

### 2 文化資源を活用した地域づくりの推進

(1) 文化芸術に関する交流の推進 .....	17
(2) 創造的活動等の推進 .....	19
(3) 文化資源の活用 .....	20
(4) 景観の形成 .....	22

### 3 文化芸術の振興を図るための環境整備

(1) 学校施設、公共的施設の活用等 .....	23
(2) 県立文化施設の充実 .....	23
(3) 情報通信技術の活用 .....	25
(4) 文化芸術活動に対する支援の促進 .....	27
(5) 顕彰の実施 .....	27

## II 進行管理のための参考指標

・ 県立文化施設利用者数 .....	28
・ 文化芸術の鑑賞・活動の重要性に関する意識、満足度(全県・地域別) .....	28
・ 県立文化施設の利用率.....	30
(県民ホール・神奈川芸術劇場・音楽堂・かながわアートホール・青少年センター)	
・ 過去1年間に美術鑑賞等の文化芸術の鑑賞・活動を行ったことのある人の割合 .....	36

## III 年次報告のまとめ(文化芸術振興審議会意見) .....

39

## かながわ文化芸術振興計画年次報告について

かながわ文化芸術振興計画は、平成 21-25 年度の 5 か年間に取り組む基本的な施策を掲げています。この年次報告は、それぞれの施策について、その主な取り組み状況をまとめるとともに、計画の進行管理に当たっての参考指標を掲げており、これらについて県文化芸術振興審議会から意見を得ながら、計画の進行管理を行うものです。

「Ⅰ 基本的な施策の実施状況」においては、各事業の開催回数や参加人数などの経年比較に加え、アンケートで示された施設利用者の満足度を記載しています。

「Ⅱ 進行管理のための参考指標」については、施設の利用者数、利用率など定量的なもの、文化芸術に関する県民の意識など定性的なもの両面を取り上げています。

### I 基本的な施策の実施状況

#### 1 県民の文化芸術活動の充実

##### (1) 県民の文化芸術活動の充実

###### ① 文化芸術に対する関心、理解を深めるための普及啓発

文化芸術に対する関心や理解を深めるために、県立文化施設での文化芸術に関する講座・講演会等の開催や、広報誌・ホームページなどで文化芸術に関する情報提供を行いました。

平成 23 年度は、講座・講演会を合計 435 回開催し、あわせて 25,736 名の参加がありました。平成 22 年度と比較すると、開催回数(425 回)が 2.3%増加し、参加者数(29,642 名)は 13.1%減少しました。

文化芸術に関する公演等の情報誌「KANAGAWA ARTS PRESS」(神奈川県総合文化芸術情報誌)を前年度と同じく年 6 回発行しました。また、県内の公演や展覧会等の情報をホームページで発信する「かな@ (アット)」を運営しました。

###### ① 県立文化施設での文化芸術に関する講座、講演会等の開催

施設名	主な内容と事業	H22		H23		増減(%)	
		実施数	参加者数	実施数	参加者数	実施数	参加者数
県民ホール 本館	文化芸術に対する知識や教養を高めるため、舞台芸術講座、パイプオルガン・ブロンナード・コンサートなどを実施した。	16	4,080	16	4,579	0	12.2
芸術劇場 神奈川	舞台芸術に対する知識や理解力を高めるため、オープントーク、KAAT 舞台芸術講座、ワークショップなどを実施した。*1	12	330	33	1,665	175.0	404.5
音楽堂	演奏や演目の理解を深めるため、レクチャーコンサートなどを実施した。	1	972	1	810	0	△16.6
アートホール かながわ	音楽を気軽に楽しんでいただくため、テーマを設定し解説をつけたカジュアルコンサートや CD コンサートを実施した。	19	1,157	16	1,207	△15.7	4.3

施設名	主な内容と事業	H22		H23		増減(%)	
		実施数	参加者数	実施数	参加者数	実施数	参加者数
美術館 近代	近代美術に対する知識や教養を高めるため、ギャラリートーク、講演、ワークショップなどを実施した。	93	2,068	103	2,886	10.7	39.5
近代文学館 神奈川	近代文学に対する知識や教養を高めるため、ギャラリートーク、講演会、朗読会、講座、映画会などを実施した。	56	6,082	61	6,263	8.9	2.9
金沢文庫	県民の学習意欲や時代のニーズに応える特別講演会、夏期・冬期講座、連続講座、子ども向け講座などを実施した。	29	3,705	29	3,705	0	0
博物館 歴史	文化芸術に対する関心や知識を高めるため、展示解説、ミュージアムトーク、講演会などを実施した。*2	21	1,025	39	1,998	85.7	94.9
図書館 県立	文化芸術に関する理解を深めるため、レコード鑑賞会、名作映画会、県民公開講座などを実施した。	31	1,048	36	1,084	16.1	3.4
図書館 川崎	科学技術における文化芸術の知識や教養を高めるため、映画上映会、映画監督のトークイベントを実施した。*3	147	9,175	101	1,539	△31.2	△83.2

\*1 神奈川芸術劇場の増加は、通年運営のため。

\*2 歴史博物館の増加は、展示解説の回数を増やしたため。

\*3 川崎図書館の減少は、平成 22 年度まで実施していた講座が終了したため。

## ② 広報誌、ホームページによる普及啓発の実施 (4)にも掲載)

事業内容	H22	H23	増減(%)
	発行回数	発行回数	発行回数
文化芸術に関する公演、催し、講座等の紹介や各種公演等の主要な出演者や演出家の紹介記事等を掲載する情報誌「KANAGAWA ARTS PRESS」(神奈川総合文化芸術情報誌)を発行した。	6	6	0
各種公演や展覧会等の情報や文化芸術に関する関心、理解を深めるために役立つホームページ「かな@(アット)」を運営した。			

## 2 鑑賞機会の充実

県立文化施設での公演、展覧会などの鑑賞機会の提供や優れた文化芸術の鑑賞機会を提供する文化芸術団体への支援により、県民の鑑賞機会の充実を図りました。

平成 23 年度は、公演や展覧会、コンサートなどの鑑賞を合計 369 回実施し、あわせて 423,307 人の入場者数がありました。平成 22 年度と比較すると、実施回数(289 回)は 27.6%増加し、入場者数(384,068 人)は 10.2%増加しました。

① 県立文化施設での公演事業の実施

施設名	主な内容と事業	H22		H23		増減(%)	
		実施数	入場者数	実施数	入場者数	実施数	入場者数
県民ホール 本館	質の高い文化芸術の鑑賞機会を充実するため、オペラ、バレエ・舞踊、オーケストラコンサート、演劇、展覧会などを実施した。	80	60,579	51	49,281	△36.2	△18.6
神奈川 芸術劇場	舞台芸術専用の劇場で身近に舞台芸術を鑑賞できる機会の充実を図るため、演劇、古典芸能、舞踊、パフォーマンスなどを実施した。*1	74	28,112	192	82,568	159.4	193.7
音楽堂	質の高い文化芸術を身近に鑑賞できる機会の充実を図るため、オーケストラコンサート、合唱、舞踊、邦楽などを実施した。	56	34,939	57	30,348	1.7	△13.1
かながわ アートホール	文化芸術に身近に触れる機会の充実を図るため、オーケストラコンサート、CDコンサート、キッズコンサートなどを実施した。	21	1,707	16	1,207	△23.8	△29.2

\*1 神奈川芸術劇場の増加は、通年運営のため。

② 県立近代美術館での美術作品の展覧会の開催

施設名	主な内容と事業	H22		H23		増減(%)	
		実施数	入場者数	実施数	入場者数	実施数	入場者数
葉山館	優れた近代美術を鑑賞する機会を提供し、近代美術に対する知識及び教養の向上を図るための展覧会を開催した。	5	45,119	5	52,368	0	16.0
鎌倉館	同上 *1	5	28,230	3	46,645	△40.0	65.2
別館 鎌倉	同上 *2	4	11,190	3	18,399	△25.0	64.4

\*1 鎌倉館の入場者数の増加は「近代の洋画」(21,073名)が好調だったため。

\*2 鎌倉別館の入場者数の増加は「ザ・日本画」(11,123名)が好調だったため。

③ 県立博物館での文化芸術に関する資料等の展示、展覧会の開催 (6)にも掲載)

施設名	主な内容と事業	H22		H23		増減(%)	
		実施数	入場者数	実施数	入場者数	実施数	入場者数
歴史 博物館	文化芸術に関する資料等の展示や特別展を実施した。*1	3	21,364	3	34,515	0	61.5
金沢 文庫	学習意欲や時代のニーズに合った分かりやすい展覧会、企画展を開催した。*2	7	90,014	6	32,910	△14.2	△63.4

\*1 歴史博物館の入場者数の増加は、広報を強化したこと等により全体的に好調だったため。

\*2 金沢文庫の減少は、平成22年度の特別展「運慶」(61,432名)が非常に好調だったため、平成23年度が通常ベース。

④ 県立神奈川近代文学館での文学資料に関する展示、展覧会の開催

主な内容と事業	H22		H23		増減(%)	
	実施数	入場者数	実施数	入場者数	実施数	入場者数
県にゆかりのある近代文学に関する文学資料を展示する、特別展、企画展、収蔵コレクション展などを開催した。	8	32,362	8	45,348	0	40.1

⑤ 文化芸術団体との連携による鑑賞機会の提供

主な内容と事業	H22		H23		増減(%)	
	実施数	人数	実施数	人数	実施数	人数
(財)神奈川フィルハーモニー管弦楽団を通じて県民の音楽鑑賞機会の充実を図るため、定期演奏会、特別演奏会などの演奏会を実施した。	26	30,452	25	29,718	△3.8	△2.4

3 県民の文化芸術活動や発表機会の支援

県民が文化芸術活動（創作・練習・稽古・発表等）を行う際に利用できる文化施設を整備し、運営するとともに、県民が参加できる展覧会やコンクールなどの開催により、県民自らが行う文化芸術活動を支援しました。

平成 23 年度は、主に発表会やコンクールに利用されている音楽堂の利用が 95,677 人、主に練習や発表会に利用されているかながわアートホールの利用が 41,209 人でした。平成 22 年度と比較すると、音楽堂の利用人数（131,203 人）は 27.0%減少し、アートホールの利用者数（40,770 人）は 1.0%増加しました。

平成 23 年度の県美術展は、応募数 1,542 点で入場者数は 6,879 人でした。平成 22 年度と比較すると、応募数（1,578 点）は 2.2%減少し、入場者数（6,763 人）は 1.7%増加しました。

補助金や助成金の交付、共催等の支援については、補助金の交付が 3 件、助成金の交付が前年度より 1 件、共催等の支援は 2 件減少しました。

アマチュア・ミュージシャンなどの発表機会の支援については、平成 23 年度は、コンテスト事業の終了に伴い参加数は 7 組となりましたが、入場者数 1,500 人は、平成 22 年度（704 人）と比較すると、113.0%増加しました。

① 県立文化施設での練習・発表等の活動の場の提供 (8 21にも掲載)

<音楽堂>

主な内容と事業	H22	H23	増減(%)
	利用人数	利用人数	利用人数
音楽活動の場の充実を図るため、オーケストラや合唱、吹奏楽などの発表会やコンクールを実施した。	131,203	95,677	△27.0

<かながわアートホール>

主な内容と事業	H22	H23	増減(%)
	利用人数	利用人数	利用人数
個人の音楽活動の練習や発表の場として、オーケストラ、室内楽、器楽、舞踊、邦楽、演劇、講演などの利用をした。	40,770	41,209	1.0

② 県美術展の開催 (9にも掲載)

内容	H22			H23			増減(%)		
	応募数	入選・入賞	入場者	応募数	入選・入賞	入場者	応募数	入選・入賞	入場者
県内の作家に作品発表の機会を提供し、その創作意欲を助長するため、第1期展・第2期展(県民ホール)、厚木巡回展を実施した。	1,578	477	6,763	1,542	447	6,879	△2.2	△6.2	1.7

③ 文化芸術団体の創作・発表等の活動への助成等による支援 (5 10にも掲載)

主な内容と事業	H22		H23		増減(%)	
	補助数	助成数	補助数	助成数	補助数	助成数
文化芸術団体が行う、公演、展示、コンクール、ワークショップ、交流事業に対し補助金、助成金による支援を実施した。	11	28	8	27	△27.2	△3.5

④ 伝統芸能、舞台芸術作品等の公演などへの共催等による支援

主な内容と事業	H22	H23	増減(%)
	事業数	事業数	事業数
本県の伝統文化の普及継承の機運を醸成し、優れた舞台芸術に触れる機会を充実するため、歌舞伎、人形浄瑠璃、地芝居、民俗芸能、相模人形芝居、能・狂言などの公演を支援した。	13	11	△15.3

⑤ アマチュア・ミュージシャンなどの発表機会の支援 (9にも掲載)

主な事業	H22		H23		増減(%)	
	参加数	入場者数	参加数	入場者数	参加数	入場者数
・Yokohama H000D!! ・カナガワミュージックサミット *	134組	704	7組	1,500	△94.7	113.0

\* 参加数の減少は、Yokohama H000D!!が平成22年度で事業が終了したため。入場者数の増加は、平成22年度に東日本大震災の影響で中止となったカナガワミュージックサミットが開催されたため。

4 文化芸術活動に関する情報の提供

文化芸術の鑑賞や活動を行う際に必要な、文化芸術の催しや文化芸術団体の活動情報などを定期的な広報誌やホームページなどで提供しました。

文化芸術に関する公演等の情報誌「KANAGAWA ARTS PRESS」(神奈川総合文化芸術情報誌)を前年度と同じく年6回発行しました。また、県内の公演や展覧会、観光情報等の情報をホームページで発信しました。

① 文化芸術に関する広報誌の発行 (1にも掲載)

事業内容	H22	H23	増減(%)
	発行回数	発行回数	発行回数
文化芸術に関する公演、催し、講座等の紹介や各種公演等の主要な出演者や演出家の紹介記事等を掲載する情報誌「KANAGAWA ARTS PRESS」(神奈川総合文化芸術情報誌)を発行した。	6	6	0
各種公演や展覧会等の情報や文化芸術に関する関心、理解を深めるために役立つホームページ「かな@(アット)」を運営した。			

② ホームページによる公演情報、文化芸術活動のための情報の提供 (19, 24にも掲載)

事業内容	H22	H23	増減(%)
	アクセス数	アクセス数	アクセス数
イベントなどの県内観光情報ホームページの運営	8,180,000	8,370,000	2.3
イベントなどの県内観光情報をメールマガジンで配信	28,200	26,000	△7.8

(2) 地域の伝統的な文化芸術の保存、継承、活用

⑤ 伝統芸能の普及啓発、鑑賞・発表機会の提供

地域の伝統芸能の大切さについての理解、認識を深めるため、人形浄瑠璃文楽などの公演を開催するとともに、日本舞踊で学ぶ和の作法などの青少年向け伝統芸能ワークショップを開催し、人材の育成を図りました。

平成23年度は、ワークショップや公演、鑑賞教室やフェスティバルなどを合計30回実施し、あわせて9,079人の参加者数がありました。平成22年度と比較すると、実施回数(34回)は11.7%減少し、入場者数(8,660人)は4.8%増加しました。

この他、ボランティア団体と協働で、祭囃子・神楽の普及・啓発を図るためワークショップや鑑賞会を開催する「祭りの音」プロジェクトにも取り組みました。

① 伝統芸能にかかわるワークショップの実施 (12にも掲載)

主な事業	H22		H23		増減(%)	
	実施数	入場者数	実施数	入場者数	実施数	入場者数
<ul style="list-style-type: none"> <li>相模人形芝居学校交流ワークショップ</li> <li>日本舞踊に学ぶ和の作法</li> <li>長唄三味線にトライ!</li> </ul>	12	1,341	11	1,454	△8.3	8.4

② 県立文化施設等での伝統芸能にかかわる公演の実施、発表機会の確保

主な事業	H22		H23		増減(%)	
	実施数	入場者数	実施数	入場者数	実施数	入場者数
<ul style="list-style-type: none"> <li>人形浄瑠璃文楽</li> <li>神奈川の地芝居フェスティバル</li> <li>かながわ民俗芸能大会</li> <li>相模人形芝居普及巡回公演</li> <li>かながわの太鼓</li> </ul>	5	3,229	5	3,419	0	5.8

③ 能・狂言等鑑賞教室の開催 (12, 13にも掲載)

主な事業	H22		H23		増減(%)	
	実施数	入場者数	実施数	入場者数	実施数	入場者数
<ul style="list-style-type: none"> <li>能・狂言教室</li> <li>歌舞伎鑑賞教室</li> </ul>	5	3,582	5	3,739	0	4.3



④ 文化芸術団体への支援や連携による発表機会の確保 (3 10にも掲載)

主な内容と事業	H22		H23		増減(%)	
	実施数	団体数	実施数	団体数	実施数	入場者数
文化芸術団体が行う、公演、展示、コンクール、ワークショップ、交流事業に対し補助金、助成金による支援を実施した。	11	28	8	27	△27.2	△3.5

⑤ 子どもを対象とした民俗芸能フェスティバルの開催 (12にも掲載)

主な内容と事業	H22		H23		増減(%)	
	実施数	入場者数	実施数	入場者数	実施数	入場者数
かながわこども民俗芸能フェスティバル(れとろびーと)	1	480	1	440	0	△8.3

6 文化財保護の充実等

文化財の適切な保存活用を図るため、実態把握の調査や試掘調査などを行い基礎的データの収集とともに、文化財の保存・保護を図るため管理者や所有者が行う指定文化財の管理や修理等に要する経費の補助金等を交付しました。また、活用・保護の普及啓発のため、「文化財保護ポスター」を公募し最優秀作品をポスター化し関係施設等に配布しました。

平成23年度については、文化財調査数が323件で前年度(236件)より36.8%増加し、試掘溝は48件で前年度(77件)より37.6%減少しました。

補助金や奨励金の交付については、補助金の交付件数が前年度より15件増加し、奨励金の交付は事業開始から35年経過し、一定の役割は果たしたとして休止となりました。

「文化財保護ポスター」については、応募が1,243件で前年度(787件)に比べて57.9%増加し、ポスターの配布先については808箇所と前年度(850箇所)に比べて4.9%減少しました。

① 文化財の指定及び指定文化財に対する助成等の実施

主な事業	H22		H23		増減(%)	
	調査数	試掘溝	調査数	試掘溝	調査数	試掘溝
文化財調査	236	77	323	48	36.8	△37.6

主な事業	H22	H23	増減(%)
	件数	件数	件数
国県指定文化財保存修理などの補助金交付	43	58	34.8
県指定文化財の保存管理などの奨励金交付	212	-	-

主な事業	H22		H23		増減(%)	
	応募数	配布先	応募数	配布先	応募数	配布先
文化財保護ポスターによる普及啓発 *	787	850	1,243	808	57.9	△4.9

\* 応募数の増加は、年度当初に「社会教育主事会議」で周知し、教育事務所を通じて学校に案内を送付したため。

② 県立博物館での文化財、伝統芸能等に関する資料の収集、保管、展示 (2)にも掲載)

施設名	主な事業	H22		H23		増減(%)	
		実施数	入場者数	実施数	入場者数	実施数	入場者数
博物館 歴史	文化芸術に関する資料等の展示や特別展を実施した。*1	3	21,364	3	34,515	0	61.5
文庫 金沢	学習意欲や時代のニーズに合った分かりやすい展覧会、企画展を開催した。*2	7	90,014	6	32,910	△14.2	△63.4

\*1 歴史博物館の入場者数の増加は、広報を強化したこと等により全体的に好調だったため。

\*2 金沢文庫の減少は、平成 22 年度の特別展「運慶」(61,432 名)が非常に好調だったため、平成 23 年度が通常ベース。

③ 県ホームページ等による文化財に関する情報の提供

<ホームページによる紹介>

- ・県ホームページで文化財を紹介

<講座等の開催>

主な事業	H22		H23		増減(%)	
	実施数	入場者数	実施数	入場者数	実施数	入場者数
<ul style="list-style-type: none"> <li>・考古学スクールセミナー</li> <li>・夏休み考古教室・まが玉作り</li> <li>・かながわの遺跡展</li> <li>・巡回展「かながわの遺跡展」</li> <li>・考古学ゼミナール</li> <li>・考古学講座</li> <li>・出土品観察会</li> </ul>	7	8,071	7	10,408	0	28.9

(3) 芸術家等の育成等に関する支援等

7 芸術家や文化芸術を支える活動を行う者の育成

将来の活躍が期待される芸術家等の発掘や育成を支援し、また、文化施設で催される様々な公演事業を支える舞台技術者等の育成に取り組みました。

平成 23 年度は、神奈川文化賞・未来賞等による顕彰を行いました。

舞台芸術関係者の育成に向けたワークショップの開催やインターンシップの受入などを合計 24 回実施し、あわせて 624 人の参加者数がありました。平成 22 年度と比較すると、実施回数(5 回)は 380.0%増加し、参加者数(192 人)は 225.0%増加しました。

また、新進芸術家に発表の場を提供するためのコンサートなどを合計 7 回実施し、あわせて 3,528 人の入場者数がありました。平成 22 年度と比較すると、実施回数(4 回)は 75.0%増加し、参加者数(3,593 人)は 1.8%減少しました。

① 神奈川文化賞・未来賞等による顕彰の実施

神奈川文化賞の若手を対象とした未来賞において、振付家・ダンサー 酒井幸菜氏  
映画監督 李相日氏を顕彰

② 舞台技術者等の文化芸術を支える者の研修等による育成支援「22」にも掲載

施設名	主な事業	H22		H23		増減(%)	
		実施数	参加者数	実施数	参加者数	実施数	参加者数
神奈川 芸術劇場	舞台芸術の創造活動における公共劇場や舞台技術の役割を考える「KAAT 舞台技術ワークショップ」を実施した。 また、インターンシップの受入をした。*	4	73	23	513	475.0	602.7
青少年 センター	小・中・高等学校演劇部顧問や市民劇団等の指導者、学校で指導的立場にある生徒等を対象とした「演劇指導者ワークショップ」を実施した。	1	119	1	111	0	△6.7

\* 神奈川芸術劇場の増加は、通年運営のため。

③ 新進芸術家の育成支援の検討「8」「18」にも掲載

主な事業	H22		H23		増減(%)	
	実施数	入場者数	実施数	入場者数	実施数	入場者数
・フレッシュコンサートの開催 ・かながわ音楽コンクール ・多機能型音楽活動推進事業の実施 *	4	3,593	7	3,528	75.0	△1.8

\* 実施数の増加は、多機能型音楽活動推進事業の実施回数が増えたため。(平成 22 年度の東日本大震災の影響による中止も含む)

8 創作のための環境の整備

県立文化施設などを活用し、芸術家等が創作・練習・稽古等に利用しやすい仕組みづくりを行うなど、創作のための環境の整備を図りました。

平成 23 年度は、主に発表会やコンクールに利用されている音楽堂の利用が 95,677 人で、主に練習や発表会に利用されているかながわアートホールの利用が 41,209 人でした。平成 22 年度と比較すると、音楽堂の利用人数(131,203 人)は 27.0%減少し、アートホールの利用者数(40,770 人)は 1.0%増加しました。

新進芸術家の創作環境支援に向けて、演奏などの発表機会を提供し、実施数は 7 回で、平成 22 年と比較すると 75.0%増加し、公演の入場者数は 3,528 人で 1.8%減少しました。

① 県立文化施設の練習・稽古等での活用「3」「21」にも掲載

<音楽堂>

主な内容と事業	H22	H23	増減(%)
	利用人数	利用人数	利用団体数
音楽活動の場の充実を図るため、オーケストラや合唱、吹奏楽などの発表会やコンクールを実施した。	131,203	95,677	△27.0

<かながわアートホール>

主な内容と事業	H22	H23	増減(%)
	利用人数	利用人数	利用人数
個人の音楽活動の練習や発表の場として、オーケストラ、室内楽、器楽、舞踊、邦楽、演劇、講演などの利用をした。	40,770	41,209	1.0

② 新進芸術家の創作環境支援の検討 (7) (18)にも掲載)

主な事業	H22		H23		増減(%)	
	実施数	入場者数	実施数	入場者数	実施数	入場者数
・フレッシュコンサートの開催 ・かながわ音楽コンクール ・多機能型音楽活動推進事業の実施 *	4	3,593	7	3,528	75.0	△1.8

\* 実施数の増加は、多機能型音楽活動推進事業の実施回数が増えたため。(平成 22 年度の東日本大震災の影響による中止も含む)

9 創造的活動の成果を発表する機会の確保

芸術家の創造的活動の成果を発表するための展覧会や公演事業などを開催するとともに、県立文化施設の主催事業などで将来の活躍が期待される芸術家に出演してもらいました。また、市町村と連携して、アマチュア・ミュージシャンなどの活動を支援しました。

平成 23 年度の県美術展は、応募数 1,542 点で入場者数は 6,879 人でした。平成 22 年度と比較すると、応募数 (1,578 点) は 2.2%減少し、入場者数 (6,763 人) は 1.7%増加しました。

平成 23 年度の将来の活躍が期待される芸術家に対する活動の場の提供としては、新進芸術家を起用した演奏会や発表機会の充実など合計 7 回実施し、あわせて 3,528 名の鑑賞者がありました。平成 22 年度と比較すると、公演数 (5 回) は 40.0%増加しましたが、鑑賞者数 (4,338 人) は 18.6%減少しました。

アマチュア・ミュージシャンなどの発表機会の支援については、平成 23 年度は、コンテスト事業の終了に伴い参加数は 7 組となったが、入場者数 1,500 人は、平成 22 年度 (704 人) と比較すると、113.0%増加しました。

① 県美術展の開催 (3)にも掲載)

内容	H22			H22			増減(%)		
	応募数	入選・入賞	入場者	応募数	入選・入賞	入場者	応募数	入選・入賞	入場者
県内の作家に作品発表の機会を提供し、その創作意欲を助長するため、第1期展・第2期展(県民ホール)、厚木巡回展を実施した。	1,578	477	6,763	1,542	447	6,879	△2.2	△6.2	1.7

② 文化芸術団体との連携による新進芸術家を起用した演奏会等の開催

主な事業	H22		H23		増減(%)	
	実施数	入場者数	実施数	入場者数	実施数	入場者数
・フレッシュコンサート ・かながわ音楽コンクール *	2	2,481	1	600	△50.0	△75.8

\* 実施数、入場者数の減少は、かながわ音楽コンクールが東日本大震災の影響により中止となったため。

③ 県立文化施設主催事業における新進芸術家の積極的登用

主な事業	H22		H23		増減(%)	
	実施数	入場者数	実施数	入場者数	実施数	入場者数
・上り坂コンサート	1	745	-	-	-	-

④ 新進芸術家の発表機会支援の検討 (18にも掲載)

主な事業	H22		H23		増減(%)	
	実施数	参加者数	実施数	参加者数	実施数	参加者数
・多機能型音楽活動推進事業 〔 県立高等学校でのアウトリーチ及び 鑑賞教室の実施 〕 *	2	1,112	6	2,928	200.0	163.3

\* 参加者数の増加は、事業の実施回数が増えたため。(平成22年度の東日本大震災の影響による中止も含む)

⑤ ストリート・ミュージシャン等アマチュア・ミュージシャンなどの発表機会の支援 (3にも掲載)

主な事業	H22		H23		増減(%)	
	参加数	入場者数	参加数	入場者数	参加数	入場者数
・Yokohama H000D!! ・カナガワミュージックサミット *	134組	704	7組	1,500	△94.7	113.0

\* 参加数の減少は、Yokohama H000D!!が平成22年度で事業が終了したため。入場者数の増加は、平成22年度に東日本大震災の影響で中止となったカナガワミュージックサミットが開催されたため。

(4) 文化芸術団体の育成等

10 文化芸術団体の育成・支援、連携・協働の推進

県民が文化芸術活動（創作・練習・稽古・発表等）を行う際に利用できる文化施設を運営するとともに、県民が参加できる展覧会やコンクールなどの開催により、県民自らが行う文化芸術活動を支援しました。

補助金や助成金の交付、共催等の支援については、補助金の交付が3件、助成金の交付が前年度より1件減少し、後援数は13件、知事賞交付数は6件増加しました。

文化芸術団体相互の連携については、野外コンサート「かながわミュージックサミット」を開催し、平成23年度の参加数は7組で入場者数は1,500人でした。

① 文化芸術団体への助成等による支援 (3 5にも掲載)

主な内容と事業	H22		H23		増減(%)	
	補助数	助成数	補助数	助成数	補助数	助成数
文化芸術団体が行う、公演、展示、コンクール、ワークショップ、交流事業に対し補助金、助成金による支援を実施した。	11	28	8	27	△27.2	△3.5

② 文化芸術団体の活動に対する後援

主な内容と事業	H22		H23		増減(%)	
	後援数	知事賞交付数	後援数	知事賞交付数	後援数	知事賞交付数
地域文化への振興の寄与、創造性などのある事業、コンクールなどに対し、後援や知事賞の交付を行った。	126	81	139	87	10.3	7.4

③ 県実施事業等における文化芸術団体との連携・協働の推進 (13にも掲載)

主な内容と事業	H22	H23	増減(%)
	実施校数	実施校数	実施校数
郷土の伝統芸能に関する教育の充実について、先導的な研究を行う拠点校について支援した。	2	2	0

#### ④ 文化芸術団体相互の連携の促進

主な内容と事業	H22		H23		増減(%)	
	参加数	入場者数	参加数	入場者数	参加数	入場者数
複数市の代表を招待した野外コンサート「カナガワミュージックサミット」を開催			7	1,500	-	-

#### (5) 子どもの文化芸術活動の充実

##### 11 文化芸術の鑑賞機会の提供

県立文化施設等で子どもたちが様々な文化芸術を鑑賞する機会を提供しました。

平成 23 年度の子ども達を対象とした文化芸術の鑑賞機会の提供は、合計で 77 回実施し、あわせて 74,088 人が鑑賞しました。平成 22 年度と比較すると、実施回数 (66 回) は 16.6%増加し、入場者数 (60,927 人) は 21.6%増加しました。

この他、「安心こども基金」を活用し、子どもや子育て中の親がオーケストラの演奏に触れる機会を提供する「神奈川フィル・ファミリークラシック」事業にも取り組みました。

##### ① 県立文化施設での子どもたちを対象とした鑑賞事業の実施

施設名	主な事業	H22		H23		増減(%)	
		実施数	入場者数	実施数	入場者数	実施数	入場者数
県民ホール 本館	・パイプオルガン夏休み子どもスペシャル ・オープンシアター *1	1	324	3	1,606	200.0	395.6
芸術劇場 神奈川	・KAAT キッズプログラム	-	-	8	2,604	-	-
音楽堂	・マエストロ聖響の夏休みオーケストラ! ・音楽堂子ども版建築見学会 *2	1	933	2	759	100.0	△18.6

\*1 県民ホール本館の増加は、オープンシアターを実施したため。

\*2 音楽堂の実施数の増加は、子ども版建築見学会を実施したため。

##### ② 文化芸術団体との連携による子どもたちを対象とした音楽体験事業等の実施 (13にも掲載)

主な内容と事業	H22		H23		増減(%)	
	実施数	参加者数	実施数	参加者数	実施数	参加者数
(財)神奈川フィルハーモニー管弦楽団による小学校、特別支援学校での演奏会を実施した。	57	56,400	56	53,400	△1.7	△5.3

##### ③ 県立神奈川近代文学館での児童文学を題材とした展覧会等の実施

主な内容と事業	H22		H23		増減(%)	
	実施数	入場者数	実施数	入場者数	実施数	入場者数
子供向けの企画として紙芝居や子ども映画会などを実施した。*	7	3,270	8	15,719	14.2	380.7

\* 入場者数の増加は、児童文学展「安野光雅展」(15,130 名)が好調だったため。

## 12 文化芸術活動の体験機会の充実

子ども達が自ら行う文化芸術活動を支援するとともに、文化芸術を体験する機会の充実を図りました。

平成23年度は、伝統芸能ワークショップや体験事業、読書に親しむ事業や民俗芸能フェスティバルなど合計52回実施し、あわせて67,619人が参加しました。平成22年度と比較すると、実施数(51回)は1.9%増加し、入場者数(54,571人)は23.9%増加しました。

### ① 文化芸術団体との連携・協働による子どもたちの文化芸術活動の推進 (5) (13)にも掲載

主な事業	H22		H23		増減(%)	
	実施数	参加者数	実施数	参加者数	実施数	参加者数
・能・狂言教室 ・歌舞伎鑑賞教室	5	3,582	5	3,739	0	4.3

### ② 県立青少年センター、藤野芸術の家での文化芸術を体験する機会の提供

施設名	主な内容と事業	H22		H23		増減(%)	
		実施数	入場者数	実施数	入場者数	実施数	入場者数
青少年センター	古典芸能、演劇、ダンスの分野で優れた劇団、演目等を選定し、青少年・一般県民に提供した。	16	10,947	19	11,836	18.7	8.1
芸術の家 藤野	自然及び人とのふれあい並びに芸術体験を通し、豊かな感性と創造性を育むことができるよう陶芸体験やチェロコンサート、雅楽公演などを実施した。	13	38,101	13	49,951	0	31.1

### ③ 伝統芸能ワークショップの実施 (5)にも掲載

主な事業	H22		H23		増減(%)	
	実施数	参加者数	実施数	参加者数	実施数	参加者数
・相模人形芝居学校交流ワークショップ ・日本舞踊に学ぶ和の作法 ・長唄三味線にトライ!	12	1,341	11	1,454	△8.3	8.4

### ④ 県立神奈川近代文学館での子どもたちが読書に親しむための事業の実施

主な事業	H22		H23		増減(%)	
	実施数	入場者数	実施数	入場者数	実施数	入場者数
子ども向けの絵本読み聞かせ会や紙芝居を実施した。*	4	120	3	199	△25.0	65.8

\* 入場者数の増加は、紙芝居「人魚ひめ」が好調だったため。

### ⑤ 子どもを対象とした民俗芸能フェスティバルの開催 (5)にも掲載

主な事業	H22		H23		増減(%)	
	実施数	入場者数	実施数	入場者数	実施数	入場者数
かながわこども民俗芸能フェスティバル(れとろびーと)	1	480	1	440	0	△8.3

## (6) 学校教育における文化芸術活動の充実

### 13 文化芸術に関する体験学習等の充実

小中学校などの学校教育における文化芸術に関する体験学習などの充実を図るとともに、芸術家等や文化芸術団体が学校教育の中で行う文化芸術活動に必要な協力や支援を実施しました。

#### ① 文化芸術団体との連携による音楽体験事業等の実施 (11)にも掲載

主な内容と事業	H22		H23		増減(%)	
	実施数	入場者数	実施数	入場者数	実施数	入場者数
(財)神奈川フィルハーモニー管弦楽団による小学校、特別支援学校での演奏会を実施した。	57	56,400	56	53,400	△1.7	△5.3

#### ② 能・狂言等鑑賞教室の開催 (5) (12)にも掲載

主な事業	H22		H23		増減(%)	
	実施数	参加者数	実施数	参加者数	実施数	参加者数
・能・狂言教室 ・歌舞伎鑑賞教室	5	3,582	5	3,739	0	4.3

#### ③ 本物の舞台芸術体験事業・学校への芸術家等派遣事業（文化庁事業）の県内での展開

#### ④ 「芸術表現を通じたコミュニケーション教育の推進」（文部科学省事業）

主な内容と事業	H22		H23		増減(%)	
	実施数	参加者数	実施数	参加者数	実施数	参加者数
「児童生徒のコミュニケーション能力の育成に資する芸術表現体験」 ・子どもたちに対し、芸術家による表現手法を用いた計画的・継続的なワークショップ等の実技指導を実施した。	45	261	41	316	△8.8	21.0
「コミュニケーション教育の円滑な実施のための調査研究」 ・学校とNPO法人・劇場等との効果的な連携手法や学習プログラムの作成・実施・効果分析等の調査研究を行った。	-	-	5	86	-	-

#### ⑤ 伝統文化こども教室事業（文化庁事業）の県内での展開

主な内容と事業	H22		H23		増減(%)	
	実施数	参加者数	実施数	参加者数	実施数	参加者数
子どもたちに対し、学校、文化施設等を拠点とし、民俗芸能、工芸技術、邦楽、日本舞踊、武道、茶道、華道など伝統文化に触れる機会を提供する団体の事業に対し助成する。  *平成23年度は、政府行政刷新会議における事業仕分け及び文部科学省における行政事業レビューの結果を踏まえ「廃止」	163	3,630	-	-	-	-



⑥ 学校文化部活動の充実・支援の実施

主な内容と事業	H22	H23	増減(%)
	参加者数	参加者数	参加者数
学校部活動の充実・支援のため8分野で研修会などを実施した。* (年度で分野は異なる)	1,529	4,122	169.5

\* 参加者数の増加は、平成23年度の吹奏楽、マーチングバンド・パントフリングの参加者数が多かったため。

⑦ 県高等学校総合文化祭の開催 (15にも掲載)

主な内容と事業	H22		H23		増減(%)	
	実施数	参加者数	実施数	参加者数	実施数	参加者数
県内各地で合唱大会、美術展など分野ごとに実施した。	30	23,553	30	28,898	0	22.6

⑧ 県立高校における文化芸術にかかわる科目等の充実及び文化芸術の発展に寄与する人材の育成

⑨ 芸術家等や文化芸術団体と連携した教育の実施 (10にも掲載)

主な内容と事業	H22	H23	増減(%)
	実施校数	実施校数	実施校数
郷土の伝統芸能に関する教育の充実について、先導的な研究を行う拠点校について支援した。	2	2	0
芸術や演劇における表現力、コミュニケーション力の向上を目指した教育活動について、先導的な研究を行う拠点校について支援した。	-	3	-

⑩ 伝統音楽に関する指導者ワークショップの実施

⑪ 学校と文化施設との連携の推進

主な事業	H22		H23		増減(%)	
	実施数	参加者数	実施数	参加者数	実施数	参加者数
・音楽堂 ふれあいアウトリーチ ・横浜市芸術文化教育プラットフォーム	8	1,384	10	1,775	25.0	28.2
・高校、図書館等での文学パネル展の開催	9	31,624	9	17,043	0	△46.1

## (7) 高齢者、障害者等の文化芸術活動の充実

### 14 高齢者、障害者等の文化芸術活動の充実

高齢者、障害者、子育て中の保護者などが、文化芸術に親しみ自ら文化芸術活動を楽しめるよう、文化芸術団体と協力しながら、文化芸術の鑑賞機会の提供や自らが文化芸術活動を楽しむための取組みを進めました。

平成23年度は、かながわシニア美術展を開催し、611点の出品があり、入場者は1,748人でした。平成22年度と比較すると、出品数は6.5%、入場者数は8.3%減少しました。

#### ① 美術展など高齢者を対象とした文化芸術事業の実施

主な内容と事業	H22		H23		増減(%)	
	出品数	入場者数	出品数	入場者数	出品数	入場者数
かながわシニア美術展	654	1,907	611	1,748	△6.5	△8.3

#### ② 県立施設における文化芸術活動の場の提供などによる障害者の自主的な活動の支援

ライトセンターで14の文科系クラブ活動を実施しました。

## 2 文化資源を活用した地域づくりの推進

### (1) 文化芸術に関する交流の推進

#### 15 地域間交流の推進

地域などの地理的・歴史的な背景の下に形成された文化芸術に関する地域間交流を進めるため、国民文化祭への参加や他県との交流事業などを実施しました。

##### ① 他県との文化芸術を介した交流の推進

主な内容と事業	H22	H23	増減(%)
	交流数	交流数	交流数
文学展の制作・提供、文学研究への協力を行った。 ・広島県 筆の里工房「夏目漱石展」パッケージの提供 ・東京都 大妻女子大学「富永太郎直筆原稿の画像データベース化による文学テキストの生成研究」への協力 ・富山県 高志の国文学館 文学館建設に向けて事業協力	2	3	50.0

##### ② 国民文化祭への県内文化芸術団体の参加促進

主な事業	H22		H23		増減(%)	
	参加団体数	参加者数	参加団体数	参加者数	参加団体数	参加者数
第26回国民文化祭へ参加	6	105	10	78	66.6	△25.7

##### ③ 全国高等学校総合文化祭への参加

主な事業	H22		H23		増減(%)	
	参加校数	参加者数	参加校数	参加者数	参加校数	参加者数
第34回全国高等学校総合文化祭へ参加	92	374	88	336	△4.3	△10.1

##### ④ 県高等学校総合文化祭の開催 (13にも掲載)

主な事業	H22		H23		増減(%)	
	実施数	参加者数	実施数	参加者数	実施数	参加者数
県内各地で合唱大会、美術展など分野ごとに実施した。	30	23,553	30	28,898	0	22.6

#### 16 国際交流の推進

文化芸術を介した国際交流事業の実施や県立文化施設での海外の作品の鑑賞機会の提供などにより、国際交流や海外の文化芸術に対する理解を深める取組みを進めました。

① 国際児童画展の開催 \* 隔年実施 (H22に作品募集と審査を実施し、H23に表彰式・展覧会を開催)

内容	H22			H23			増減(%)		
	応募数	外国応募	入場者	応募数	外国応募	入場者	応募数	外国応募	入場者
児童の国際理解と国際交流推進のため、県内及び世界各国から児童画を募集し展覧会を開催した。	22,443	19,478	-	-	-	17,432*	-	-	-

\* 県内市町村実施の巡回展観覧者数14,447人を含む。

② 海外の友好交流都市等との文化芸術を介した交流事業の実施

③ 海外の最高水準の舞台芸術作品の県立文化施設での公演や展覧会の実施

施設名	主な事業	H22		H23		増減(%)	
		実施数	参加者数	実施数	参加者数	実施数	参加者数
県民ホール 本館	質の高い文化芸術の鑑賞機会を充実するため、海外オペラ、バレエ公演などを実施した。*	6	8,013	3	4,435	△50.0	△44.6
芸術劇場 神奈川	質の高い文化芸術の鑑賞機会を充実するため、海外で芸術として根づいているストリート・ダンスについて作品を招聘し、ダンスフェスティバルを実施した。	-	-	1	1,052	-	-

\* 県民ホール本館の減少は、事業費縮小の影響。

また、東日本大震災の影響でスロヴェニア国立マリゴール歌劇場「運命の力」が中止。

17 多文化理解の推進

各国の文化を紹介し、外国籍県民との交流を図る催しや講座を実施するなど、多文化理解を進めました。

平成23年度の多文化理解の推進のための事業は、合計で36回実施し、あわせて13,695人が参加しました。平成22年度と比較すると、実施回数(32回)は12.5%増加しましたが、入場者数(27,432人)は50.0%減少しました。

① 「あーすフェスタかながわ」など多文化理解や交流を推進するための事業の実施

主な内容と事業	H22		H23		増減(%)	
	実施数	参加者数	実施数	参加者数	実施数	参加者数
多文化共生をテーマとした「あーすフェスタかながわ」を開催し、シンポジウム、民俗芸能ステージ、ワークショップ、世界屋台村などを展開した。*	1	22,000	1	10,000	0	△54.5

\* 参加者数の減少は、開催日数が2日から1日となったため。

② 地球市民かながわプラザ等での多文化理解を推進するための講座等の実施

主な内容と事業	H22		H23		増減(%)	
	実施数	参加者数	実施数	参加者数	実施数	参加者数
世界の絵本展覧会、民族楽器のワークショップなどの「ワールドカルチャー・デイ」を実施した。	12	2,230	-	-	-	-
在住外国人等を講師として、写真、クイズ、遊び、ダンスなどを通じて、様々な国の文化を学ぶワークショップ「世界の教室」を実施した。	-	-	12	390	-	-
小学校に出向き、写真パネルや民族衣装、楽器を使ったワークショップなどの「出前講座」を実施した。*	5	418	2	253	△60.0	△39.4

\* 指定管理者交替に伴い、実施プログラム数が減少したため。

③ 湘南国際村における国際人材育成等に関する事業の実施

主な内容と事業	H22		H23		増減(%)	
	実施数	参加者数	実施数	参加者数	実施数	参加者数
学部生・院生を対象にインターカレッジ方式で日本とアジアの政治・経済・文化を主題にした若手国際人材セミナー「湘南国際村インカレ国際セミナー」を実施。	1	88	1	77	0	△12.5
県内高校の国際教育の推進を支援するため、国際人材育成プログラムを提供し高校に講師を派遣した。*	13	2,696	20	2,975	53.8	10.3

\* 実施数の増加は、広報を強化したことにより、講師の派遣依頼が増えたため。

(2) 創造的活動等の推進

18 創造的活動の推進と発信

県立文化施設の活用や文化芸術団体との連携により、新しい文化芸術の創造的活動を推進するとともに、これらを国内外に発信する取組みを実施しました。

平成23年度は、舞台芸術作品の創造・発信や新進芸術家等への支援として演奏の場の提供など合計で121回実施し、入場者はあわせて55,386人でした。平成22年度と比較すると、実施回数(53回)は128.3%増加し、入場者数(32,184人)は72.0%増加しました。

① 県立文化施設における新たな舞台芸術作品等の創造・発信

	主な内容と事業	H22		H23		増減(%)	
		実施数	参加者数	実施数	参加者数	実施数	参加者数
県民ホール	他文化施設との共同制作によるオペラやガラコンサートなど、大規模公演を実施した。*1	1	1,990	3	5,449	200.0	173.8
芸術劇場 神奈川県	有名演出家による演劇やミュージカル、日本民話「鶴の恩返し」をテーマとしたダンス等、多彩なラインナップで公演を実施した。*2	42	22,594	98	42,972	133.3	90.1

	主な内容と事業	H22		H23		増減(%)	
		実施数	参加者数	実施数	参加者数	実施数	参加者数
音楽堂	県内高校生がプロオーケストラと共演した「メサイア」や古楽と華道とのコラボレーション公演などを実施した。 *3	6	4,007	13	3,437	116.6	△14.2

\*1 県民ホール本館の増加は、平成22年度に東日本大震災の影響で中止となったオペラを実施したため。

\*2 神奈川芸術劇場の増加は、通年運営による。

\*3 音楽堂の実施数の増加は、公演関連企画が増えたため。

## ② 文化芸術団体・芸術系大学等との連携による先駆的で発信性の高い文化芸術の創造 (9にも掲載)

主な事業	H22		H23		増減(%)	
	実施数	入場者数	実施数	入場者数	実施数	入場者数
・多機能型音楽活動推進事業 * 〔 県立高等学校でのアウトリーチ及び鑑賞教室の実施 〕	2	1,112	6	2,928	200.0	163.3

\* 参加者数の増加は、事業の実施回数が増えたため。(平成22年度の東日本大震災の影響による中止も含む)

## ③ 新進芸術家等への支援の検討 (7 8にも掲載)

主な事業	H22		H23		増減(%)	
	実施数	入場者数	実施数	入場者数	実施数	入場者数
・フレッシュコンサートの開催 ・かながわ音楽コンクール *	2	2,481	1	600	△50.0	△75.8

\* 実施数、入場者数の減少は、かながわ音楽コンクールが東日本大震災の影響により中止となったため。

## (3) 文化資源の活用

### 19 文化資源を活用した地域の活性化

地域の活性化等に活用可能な文化資源について、市町村、文化芸術団体、芸術家、企業などとの連携により有効活用を努めるとともに、その魅力を広くPRするための情報発信に取り組みました。

#### ① 神奈川芸術劇場における地域との連携の推進

・神奈川芸術劇場において、幕末の開港時の神奈川県を舞台にした演劇「太平洋序曲」の鑑賞に合わせて、県の観光協会と協力し、劇と関係の深い開港資料館の見学や食事を組み合わせたツアーの実施や、夜の公演を楽しんだ後に、食事ができる店を示した中華街マップを作成・配布するなどの取組みを進めた。

#### ② 相模湾沿岸をはじめとした地域に残る近代建造物と邸園を保全・活用した地域づくりの推進

・湘南各地のNPO等の協働により、各地に残る邸園等を活用した様々な文化的イベントを地域一帯で同時期に行い、多彩な交流を紡ぎ出す「湘南邸園文化祭」を開催した。  
・民間による歴史的建造物や邸園の保全活用の取組み支援のための地域づくりを推進する専門家「邸園(歴史的建造物)保全活用推進員」を養成した。

③ 箱根ジオパーク構想の推進

・箱根火山を中心とする西湘地域の地質学的資源を地域の文化遺産との関わりのなかで維持保全し、その価値を高めていくため、ユネスコが支援するジオパークの認定を目指し取組みを進めた。

④ 鎌倉の世界文化遺産登録の推進

・「武家の古都・鎌倉」の早期かつ確実な世界遺産登録に向け、文化庁の協力の下、平成23年8月までに推薦書案を完成させ、平成23年9月28日に「武家の古都・鎌倉世界遺産登録推薦書（暫定版）」を、平成24年1月27日に「同（正式版）」を、政府を通じてユネスコ世界遺産センターに提出した。

⑤ 地域に伝承されてきた文化等の発掘・発信・体験の促進

○あしがらブランド力推進事業

・平成21年から22年度に実施した「地域ブランド『あしがらの里』の形成と普及事業」で発掘した地域資源を活かしたアートフェスティバル等を実施し、情報発信を行うことにより、同地域の知名度の向上を図った。（鉄道会社との協力による沿線70駅に掲示する駅貼りポスターの制作や旅行会社による旅行商品開発等支援事業の実施）

○ASHIGARAアートフェスティバル事業

・足柄上地域（南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町）が有する豊かな自然と地域資源をアートを通じて国内外に広く情報発信し、地域のブランド力の向上を推進するため、厚生労働省の「緊急雇用創出事業臨時特例基金」を活用し、「ASHIGARAアートフェスティバルVo.0」（平成24年2月11日～3月11日）を開催した。

○ASHIGARA Wood—ART事業

・足柄上地域の観光魅力と知名度の向上を図り、ブランド力を高めるため、地元産の間伐材などの活用によるチェーンソーアートの普及事業を行うことにより、特徴的な地域資源を創出した。（第1回神奈川チェーンソーアート競技大会の実施や足柄上地域内にチェーンソーで制作したサインアートを設置）

⑥ 県立文化施設の地域のにぎわい創出等への活用

	事業内容	H22	H23	増減(%)
		参加者数	参加者数	参加者数
芸術劇場 神奈川	国際舞台芸術ミーティング in 横浜<TPAM> ○公演 ○展示 ○セミナー ○コミュニケーション・プログラム ○関連企画 ○関連事業	23,875	16,032	△32.8

⑦ ホームページ等による、県内の伝統的な行事や祭りの開催など文化資源に関する地域情報の発信 (4/24にも掲載)

事業内容	H22	H23	増減(%)
	アクセス数	アクセス数	アクセス数
イベントなどの県内観光情報ホームページの運営	8,180,000	8,370,000	2.3
イベントなどの県内観光情報をメールマガジンで配信	28,200	26,000	△7.8

⑧ 地域の製品の普及、伝統的工芸品の製品フェア開催など文化資源の普及、育成

事業内容	H22	H23	増減(%)
	参加者数	参加者数	参加者数
伝統的工芸品の後継者育成事業への助成を行った。	206	220	6.7

⑨ フィルムコミッション活動支援事業の推進

**(4) 景観の形成**

**20 良好な景観の形成**

県内各地の自然景観、歴史的景観、都市景観などの良好な景観の形成に当たって、文化的諸条件などに配慮し、魅力ある景観づくりに取り組みました。

- ① 「神奈川景観づくり基本方針」に基づく魅力ある景観づくりの推進
  - ・市町村（指定都市、中核市を除く）の景観施策への取組み支援のため、景観に関する知識を有する専門家を派遣した。（三浦市、南足柄市、小田原市など10市町村の景観ワークショップ、景観講演会など20事業へ派遣）
- ② 文化財保護法に基づく重要文化的景観の選定に係る検討
- ③ 歴史まちづくり法等に基づく関連文化財所在市町村への助言



### 3 文化芸術の振興を図るための環境整備

#### (1) 学校施設、公共的施設の活用等

##### 21 公共的施設等の活用

文化芸術活動の場の充実に関する県民ニーズに応えるため、既存の文化施設を利用しやすくするなどのサービスの改善を図るとともに、地域の身近な拠点施設の活用等に取り組みました。

##### ① 学校施設、公共的施設の文化芸術活動の練習、稽古、発表の場としての活用 (3 8にも掲載) <音楽堂>

主な内容と事業	H22	H23	増減(%)
	利用人数	利用人数	利用人数
音楽活動の場の充実を図るため、オーケストラや合唱、吹奏楽などの発表会やコンクールを実施した。	131,203	95,677	△27.0

##### <かながわアートホール>

主な内容と事業	H22	H23	増減(%)
	利用人数	利用人数	利用人数
個人の音楽活動の練習や発表の場として、オーケストラ、室内楽、器楽、舞踊、邦楽、演劇、講演などの利用をした。	40,770	41,209	1.0

#### (2) 県立文化施設の充実

##### 22 県立文化施設の機能の充実

県民の文化芸術活動に対するニーズが多様化・高度化する中、専門的な機能を有した文化施設が求められています。こうしたニーズに対応できるよう、県立文化施設の充実を図りました。

平成23年度については、芸術家等の人材育成やワークショップ事業を合計77回実施し、あわせて5,165人の参加がありました。平成22年度と比較すると、実施回数(25回)は208.0%、参加者数(3,326人)は55.2%増加しました。

##### ① 文化施設の特性に応じた芸術家等の人材育成、教育プログラム、アウトリーチ等の実施

施設名	主な内容と事業	H22		H23		増減(%)	
		実施数	参加者数	実施数	参加者数	実施数	参加者数
芸術劇場 神奈川	舞台芸術の創造活動における公共劇場や舞台技術の役割を考える「KAAT 舞台技術ワークショップ」や「舞台芸術講座」などを実施した。*1	3	61	23	513	666.6	740.9
音楽堂	県立養護学校の子どもたちにプロによる生の音楽の魅力と楽しさを体験してもらう「音楽堂 ふれあいアウトリーチ」や小・中学生を対象とした「ワークショップ」などを実施した。*2	9	2,144	14	2,271	55.5	5.9

\*1 神奈川芸術劇場の増加は、通年運営による。

\*2 音楽堂の実施数の増加は、他組織と連携した事業が増えたため。

② 文化施設における参加体験型（ワークショップ）事業の実施（7にも掲載）

施設名	主な内容と事業	H22		H23		増減(%)	
		実施数	参加者数	実施数	参加者数	実施数	参加者数
県民ホール 本館	紙パイプで楽器をつくるワークショップを開催した。	-	-	1	20	-	-
芸術劇場 神奈川	舞台芸術の創造活動における公共劇場や舞台技術の役割を考える「KAAT舞台技術ワークショップ」などを実施した。*	6	111	30	1,513	400.0	1,263.0
音楽堂	小・中学生を対象とした「指揮者との交流ワークショップ」などを実施した。	6	891	8	737	33.3	△17.2
青少年 センター	小・中・高等学校演劇部顧問や市民劇団等の指導者、学校で指導的立場にある生徒等を対象とした「演劇指導者ワークショップ」を実施した。	1	119	1	111	0	△6.7

\* 神奈川芸術劇場の増加は、通年運営による。

③ 文化施設の整備による施設機能の向上

- ・ 県民ホール(本館)再整備の検討

23 運営方法の点検等

県立文化施設の機能を最大限に発揮させるため、効果的・効率的な事業の実施や施設運営について検証を行いました。

① 施設利用者を対象としたアンケート調査の実施

※ 数値の端数処理のため、回答合計が100%ではない場合があります。

<県民ホール本館> 「平成23年度神奈川県民ホール利用者満足度調査」概要

○ 実施時期	平成23年12月1日～12月31日				
○ 実施方法	調査票の館内配置(主催事業・共催事業)				
○ 有効回収数	215件				
○ 結果概要					
・ 催しの内容	良い85%	普通 2%	良くない1%	無回答12%	
・ 催しを選んだ理由	演目39%	出演者30%	会場17%	料金7%	その他7%
・ 施設総合評価	良い47%	普通37%	悪い2%	無回答13%	

<神奈川芸術劇場> 「平成23年度神奈川芸術劇場利用者満足度調査」概要

○ 実施時期	平成23年12月1日～12月31日				
○ 実施方法	調査票の館内配置(主催事業・共催事業)				
○ 有効回収数	65件				
○ 結果概要					
・ 催しの内容	良い66%	普通15%	良くない3%	無回答15%	
・ 催しを選んだ理由	演目50%	その他29%	出演者11%	会場5%	料金5%
・ 施設総合評価	良い35%	普通20%	悪い3%	無回答42%	

<音楽堂> 「平成23年度神奈川県立音楽堂利用者満足度調査」概要

○ 実施時期	平成23年12月1日～12月25日				
○ 実施方法	調査票のちらしへのはさみ込み・館内配置(主催事業・共催事業)				
○ 有効回収数	67件				
○ 結果概要					
・ 催しの内容	良い87%	普通 4%	良くない 4%	無回答 4%	
・ 催しを選んだ理由	曲目29%	料金23%	会場18%	その他18%	出演者12%
・ 施設総合評価	良い36%	普通30%	悪い 1%	無回答33%	

<かながわアートホール> 「平成23年度神奈川県立かながわアートホール利用者満足度調査」概要

○ 実施時期	平成23年12月1日～12月27日				
○ 実施方法	調査票のちらしへのはさみ込み・館内配置(主催事業・共催事業)				
○ 有効回収数	184件				
○ 結果概要					
・ 催しの内容	良い87%	普通 3%	良くない 1%	無回答 9%	
・ 施設総合評価	良い67%	普通28%	悪い 1%	無回答 5%	

<神奈川近代文学館> 「神奈川近代文学館利用者満足度調査 平成23年度分」概要

○ 実施時期	平成23年10月1日～11月13日				
○ 実施方法	調査票の館内配置(展覧会「林芙美子展」)				
○ 有効回収数	214件				
○ 結果概要					
・ 分かりやすさ	良い76%	普通14%	悪い2%	無回答 8%	
・ 料金	良い58%	普通27%	悪い2%	無回答13%	
・ 展覧会全体評価	良い80%	普通12%	悪い0%	無回答 8%	
・ 施設・設備全体評価	良い42%	普通14%	悪い0%	無回答44%	

② 施設運営会議等による施設運営や実施事業の点検・検証

県立県民ホールについて「指定管理業務実績評価委員会」において、施設運営や実施事業の評価を実施

③ 施設運営全般についてのモニタリングの実施

県立県民ホールほか各指定管理施設で実施

**(3) 情報通信技術の活用**

**24 情報の発信**

文化芸術に関する情報や資料などを容易に入手できるよう、ホームページや電子メールを活用した情報提供を行いました。

① ホームページや電子メールを活用した文化芸術情報の提供 (4 19にも掲載)

事業内容
各種公演や展覧会等の情報や文化芸術に関する関心、理解を深めるために役立つホームページ「かな@(アート)」を運営した。

事業内容	H22	H23	増減(%)
	アクセス数	アクセス数	アクセス数
イベントなどの県内観光情報ホームページの運営	8,180,000	8,370,000	2.3
イベントなどの県内観光情報をメールマガジンで配信	28,200	26,000	△7.8

## ② 保存資料等の検索・閲覧等に関する情報通信技術の活用

事業内容	H22	H23	増減(%)
	アクセス数	アクセス数	アクセス数
インターネットによる県立神奈川近代文学館の蔵書検索システムの運営を行った。	42,624	53,973	26.6

## 25 利便性の向上

県立文化施設の利用手続において、窓口を訪れる負担などを軽減するため、情報通信技術を活用し、自宅から利用予約が可能となるよう、利用者サービスの向上に取り組みました。

### ① 施設利用予約システムの運用

事業内容	H22	H23	増減(%)
	アクセス数	アクセス数	アクセス数
県内公共施設のインターネットによる予約システムの運営を行った。	779,046	944,345	21.2

## 26 文化芸術にかかわる資料、作品、情報等の保存

県立文化施設等に保存・保管されている文化芸術にかかわる資料について、デジタル化、データベース化を図り、利用者の利便性を高める取組みを進めました。

### ① 県立文化施設等における収蔵資料等のデジタル化、データベース化の推進

事業内容	H22		H23	
	新規	累計	新規	累計
県立神奈川近代文学館の特別資料(原稿、自筆資料、書簡等)のデータベース化を行った。	5,369	172,369	3,308	175,677

#### (4) 文化芸術活動に対する支援の促進

##### 27 文化芸術活動に対する個人や企業等からの寄附や支援の促進

県民を主体とした文化芸術活動をこれまで以上に充実させていくためには、様々な主体による文化芸術活動の支援が不可欠となっています。

文化芸術の振興に寄与する寄附税制等の周知などにより、個人や企業からの寄附や支援が活発に行われるよう取り組みます。

###### ① 寄附税制等に関する周知

県立神奈川近代文学館の指定管理者である（公財）神奈川文学振興会が、ホームページで寄附金に対する税優遇について周知。

###### ② 文化芸術団体への寄附の促進

神奈川フィルハーモニー管弦楽団の公益財団法人移行に向けて、横浜市、企業等とともに「がんばれ！神奈フィル応援団」を設けて支援。

###### ③ メセナ企業等に関する情報の提供

—

###### ④ メセナ企業と芸術家とを結び付ける方策の検討

—

#### (5) 顕彰の実施

##### 28 顕彰の実施

文化芸術活動で顕著な成果を収めた人や団体、また、文化芸術の振興に寄与した人や団体の顕彰を実施しました。

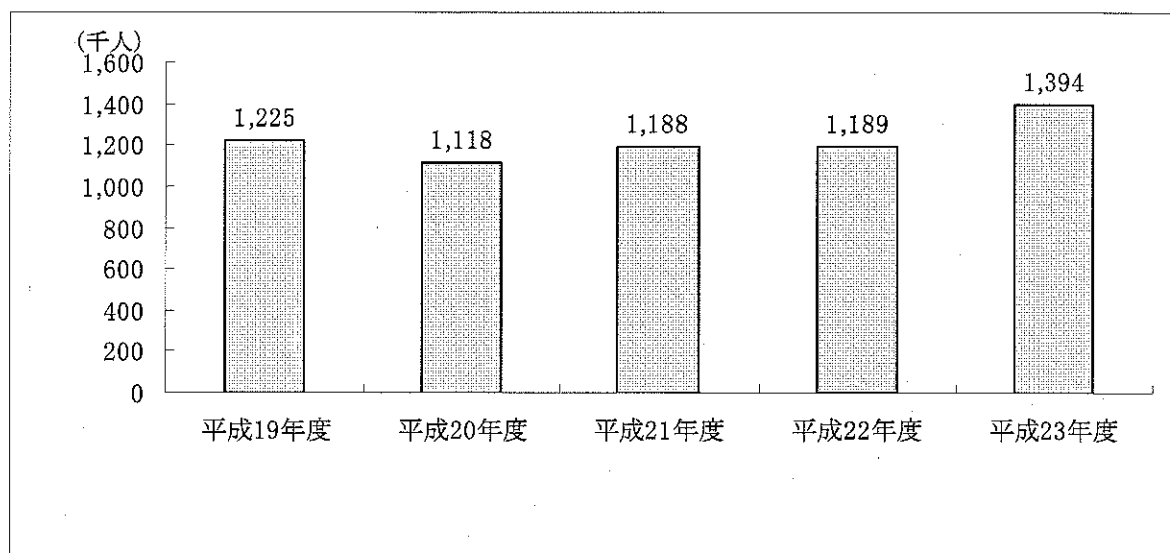
平成23年度は、文学者、写真家、彫刻家、宇宙工学者、振付家・ダンサー、映画監督など本県文化芸術の振興に寄与いただいた方々を表彰しました。

###### ① 神奈川文化賞・未来賞等による顕彰の実施

神奈川文化賞	・高橋 睦郎（文学） ・山本 正道（芸術）	・石内 都（芸術） ・川口 淳一郎（科学技術）
神奈川文化賞未来賞	・酒井 幸菜（芸術）	・李 相日（芸術）

## II 進行管理のための参考指標

### 1 県立文化施設\*利用者数



\*「県立文化施設」：県民ホール（本館・神奈川芸術劇場）・音楽堂・かながわアートホール・青少年センター・近代美術館・近代文学館

### 2 文化芸術の鑑賞・活動の重要性に関する意識、満足度（全県）

文化芸術の鑑賞・活動の重要性に関する意識は高いが、満足度は低い。

質問項目	生活重要度		生活満足度	
	重要	重要でない	満たされている	満たされていない
文化や芸術を鑑賞したり、活動に参加できる場が身近に整っていること	54.9%	12.3%	24.6%	20.8%
自由な時間や休日が多く、ゆとりある生活ができること	69.1%	6.1%	18.5%	36.0%
自然や歴史・文化、景観など地域の特性を生かしたまちづくりが進んでいる	66.3%	4.3%	15.8%	18.5%

(平成23年度県民ニーズ調査)

### 3 文化芸術の鑑賞・活動の重要性に関する意識、満足度（地域別）

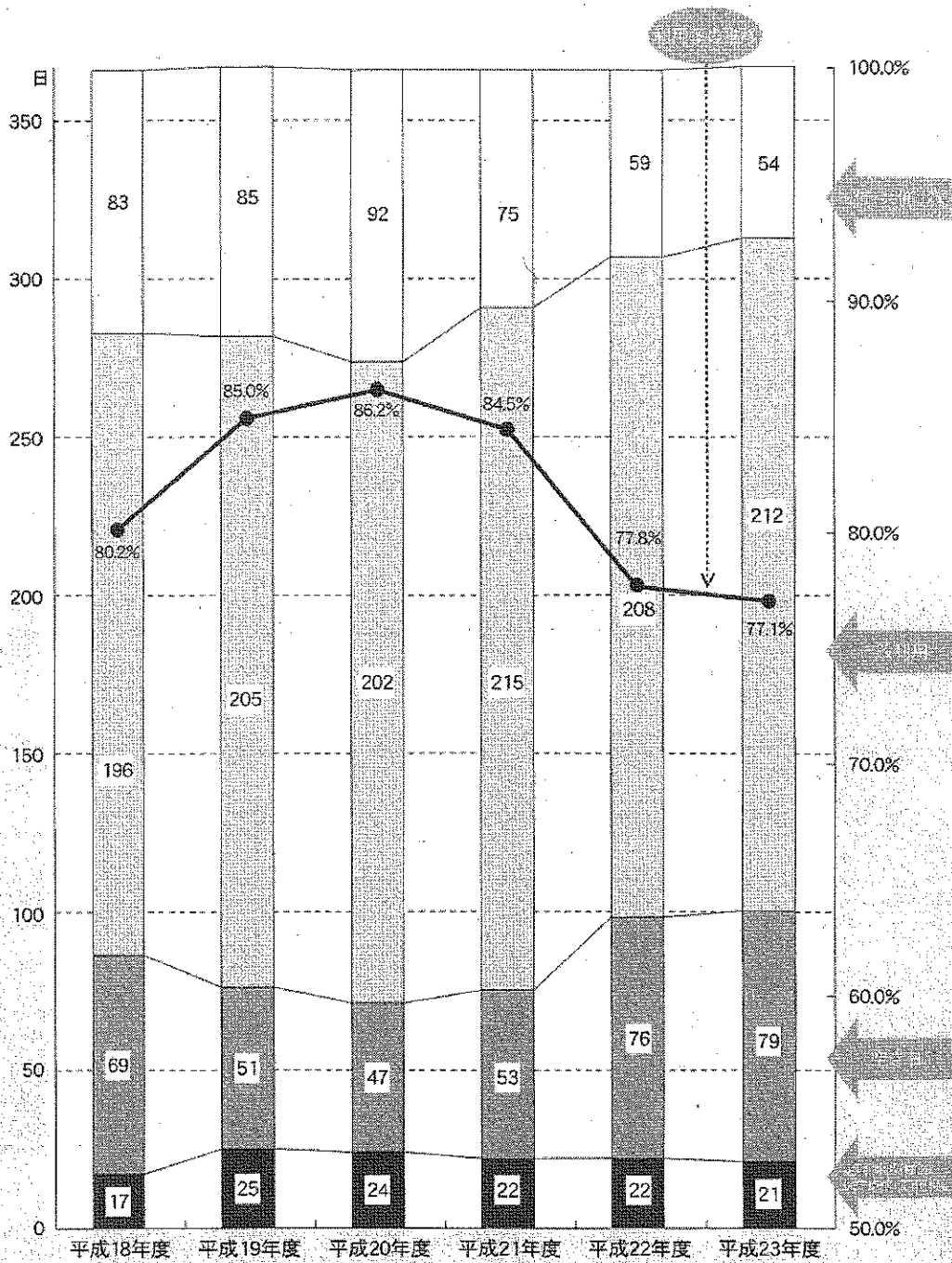
いずれの地域においても、文化芸術の鑑賞・活動の重要性に関する意識は高いが、満足度は低い。

	全 体 ( 人 数)	非 常 に 重 要 で あ る	か な り 重 要 で あ る	ど ち ら と も い え な い	さ ほ ど 重 要 で な い	全 く 重 要 で は な い	わ か ら な い	無 回 答	
全 体	1,350	13.0	41.9	29.2	10.7	1.6	1.9	1.8	
居住地域別	横浜	513	15.0	40.9	29.6	8.4	1.4	2.7	1.9
	川崎	198	14.6	42.4	26.3	13.6	1.0	0.5	1.5
	相模原	101	10.9	39.6	36.6	6.9	2.0	2.0	2.0
	横須賀三浦	115	12.2	46.1	22.6	15.7	0.9	0.9	1.7
	県央	118	6.8	49.2	28.8	12.7	0.8	0.8	0.8
	湘南	194	12.9	37.6	32.5	11.3	1.5	1.5	2.6
	足柄上	24	12.5	37.5	25.0	12.5	4.2	4.2	4.2
	西湘	46	8.7	43.5	21.7	15.2	8.7	2.2	-
	性別								
男 性	576	12.0	41.3	31.9	9.7	2.4	1.6	1.0	
女 性	730	14.1	42.2	26.7	11.6	1.0	2.1	2.3	
性・年代	男性20歳代	41	29.3	31.7	24.4	7.3	4.9	2.4	-
	30歳代	90	16.7	30.0	34.4	14.4	2.2	1.1	1.1
	40歳代	114	14.9	34.2	41.2	5.3	2.6	0.9	0.9
	50歳代	101	4.0	46.5	33.7	10.9	2.0	3.0	-
	60歳代	138	12.3	46.4	26.1	10.1	2.2	2.2	0.7
	70歳以上	92	4.3	52.2	28.3	9.8	2.2	-	3.3
	女性20歳代	72	20.8	30.6	30.6	15.3	-	-	2.8
	30歳代	148	17.6	40.5	23.0	13.5	2.0	2.7	0.7
	40歳代	141	18.4	39.0	27.7	12.8	-	1.4	0.7
	50歳代	128	7.8	46.1	26.6	12.5	0.8	3.9	2.3
	60歳代	158	10.8	50.0	25.9	8.9	0.6	1.9	1.9
	70歳以上	83	10.8	39.8	30.1	7.2	2.4	1.2	8.4

	全 体 ( 人 数)	十 分 満 た さ れ て い る	か な り 満 た さ れ て い る	ど ち ら と も い え な い	あ ま り 満 た さ れ て い な い	い ほ と ん ど 満 た さ れ て い な い	わ か ら な い	無 回 答	
全 体	1,350	2.2	22.4	42.5	15.6	5.2	9.8	2.4	
居住地域別	横浜	513	2.5	20.9	43.9	14.6	5.3	10.3	2.5
	川崎	198	4.0	29.8	38.4	14.1	4.5	7.1	2.0
	相模原	101	1.0	18.8	42.6	14.9	8.9	10.9	3.0
	横須賀三浦	115	0.9	29.6	33.9	20.9	2.6	8.7	3.5
	県央	118	-	20.3	44.9	16.9	6.8	11.0	-
	湘南	194	2.1	19.1	47.9	13.9	5.7	7.7	3.6
	足柄上	24	4.2	20.8	29.2	16.7	4.2	25.0	-
	西湘	46	2.2	15.2	39.1	23.9	4.3	15.2	-
	性別								
男 性	576	1.9	20.3	47.4	14.8	5.2	8.7	1.7	
女 性	730	2.5	24.1	38.4	16.3	5.2	10.8	2.7	
性・年代	男性20歳代	41	7.3	19.5	31.7	12.2	2.4	26.8	-
	30歳代	90	2.2	20.0	44.4	17.8	5.6	7.8	2.2
	40歳代	114	1.8	22.8	43.0	14.9	4.4	10.5	2.6
	50歳代	101	2.0	16.8	55.4	11.9	5.9	6.9	1.0
	60歳代	138	0.7	21.0	49.3	15.9	7.2	5.1	0.7
	70歳以上	92	1.1	20.7	51.1	14.1	3.3	6.5	3.3
	女性20歳代	72	4.2	22.2	33.3	12.5	5.6	19.4	2.8
	30歳代	148	4.1	21.6	39.2	12.8	6.8	14.9	0.7
	40歳代	141	2.8	24.1	40.4	17.0	6.4	9.2	-
	50歳代	128	1.6	25.0	40.6	18.8	2.3	7.8	3.9
	60歳代	158	0.6	24.1	43.0	15.2	5.7	9.5	1.9
	70歳以上	83	2.4	28.9	25.3	22.9	3.6	6.0	10.8

(平成23年度県民ニーズ調査)

#### 4 県立文化施設の利用率 県民ホール 大ホール



利用可能日数	348日	341日	341日	343日	343日	345日
実利用日数 (自主・共催含む)	279日	290日	294日	290日	267日	266日
実利用日数 (一般のみ)	196日	205日	202日	215日	208日	212日

◆平成23年度は、東日本大震災の影響で、4月の利用が2日間減。

<グラフの見方>

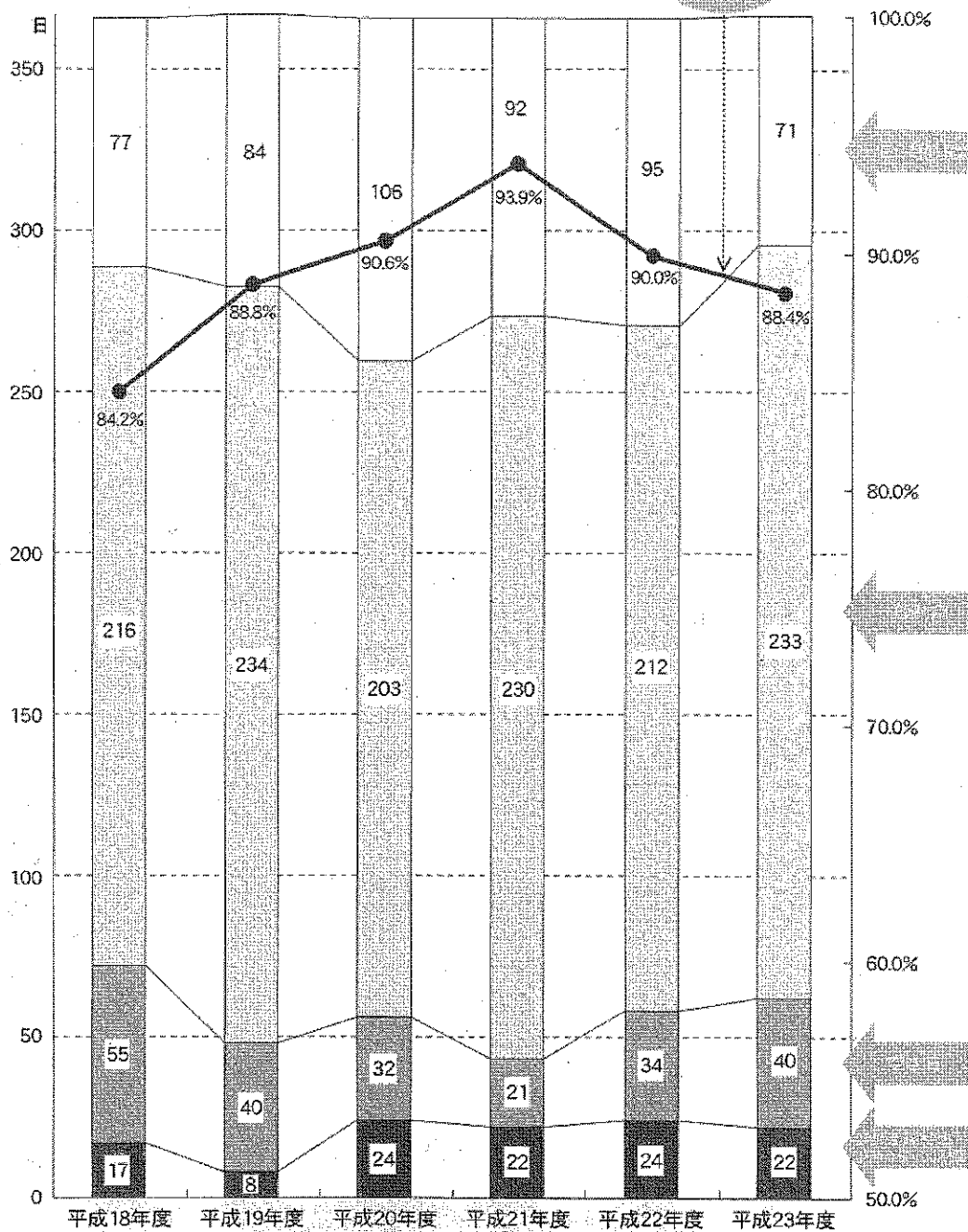
\*棒グラフ：利用の内訳日数 <目盛はグラフの左側>

\*折れ線グラフ：利用率 <目盛はグラフの右側>

(「平成23年度 県民ホール年報」)



## 5 県立文化施設の利用率 県民ホール 小ホール



利用可能日数	348日	358日	341日	343日	341日	344日
実利用日数 (自主・共催含む)	293日	318日	309日	322日	307日	304日
実利用日数 (一般のみ)	216日	234日	203日	230日	212日	233日

◆平成23年度は、東日本大震災の影響で、4月の利用が3日間減。

<グラフの見方>

\*棒グラフ：利用の内訳日数 <目盛はグラフの左側>

\*折れ線グラフ：利用率 <目盛はグラフの右側>

(「平成23年度 県民ホール年報」)

6 県立文化施設の利用率 神奈川芸術劇場

ホール	平成22年度	平成23年度
利用可能日数	74日	315日
実利用日数（自主・提携含む）	51日	260日
実利用日数（一般のみ）	0日	88日
利用率	68.9%	82.5%

大スタジオ	平成22年度	平成23年度
利用可能日数	113日	336日
実利用日数（自主・提携含む）	97日	245日
実利用日数（一般のみ）	0日	53日
利用率	85.8%	72.9%

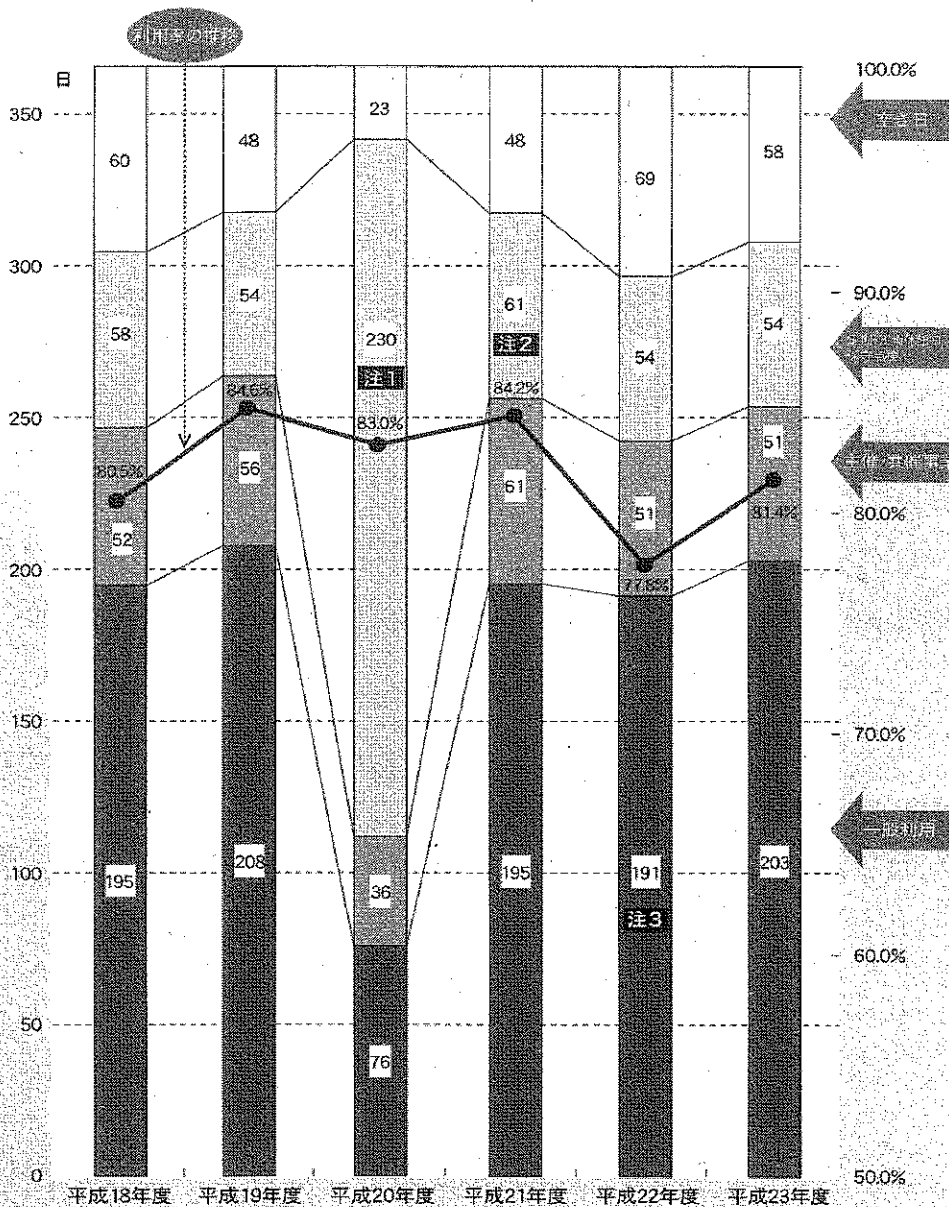
中・小スタジオ	平成22年度	平成23年度
利用可能日数	126日	352日
実利用日数（自主・提携含む）	77日	262日
実利用日数（一般のみ）	4日	55日
利用率	61.1%	74.4%

アトリエ	平成22年度	平成23年度
利用可能日数	124日	354日
実利用日数（自主・提携含む）	110日	223日
実利用日数（一般のみ）	2日	58日
利用率	88.7%	63.0%

※平成22年度は開館年度として自主事業中心の利用となっている。

（「平成23年度 神奈川芸術劇場年報」）

## 7 県立文化施設の利用率 音楽堂



利用可能日数	307日	312日	★135日	☆304日	311日	312日
実利用日数 (自主・共催含む)	247日	264日	112日	256日	242日	254日
実利用日数 (一般のみ)	195日	208日	76日	195日	191日	203日

注1・★平成20年度は138日間のみ開館、後半212日間は耐震補強工事のため休館。

注2・☆平成21年度は17日間(4月17日まで)は耐震補強工事のため休館。

注3・平成22年度は、東日本大震災の影響で3月の利用予定が7日公演中止。

<グラフの見方>\*棒グラフ：利用の内訳日数はグラフの左側の目盛 \*折れ線グラフ：利用率は右側の目盛

(「平成23年度 音楽堂年報」)

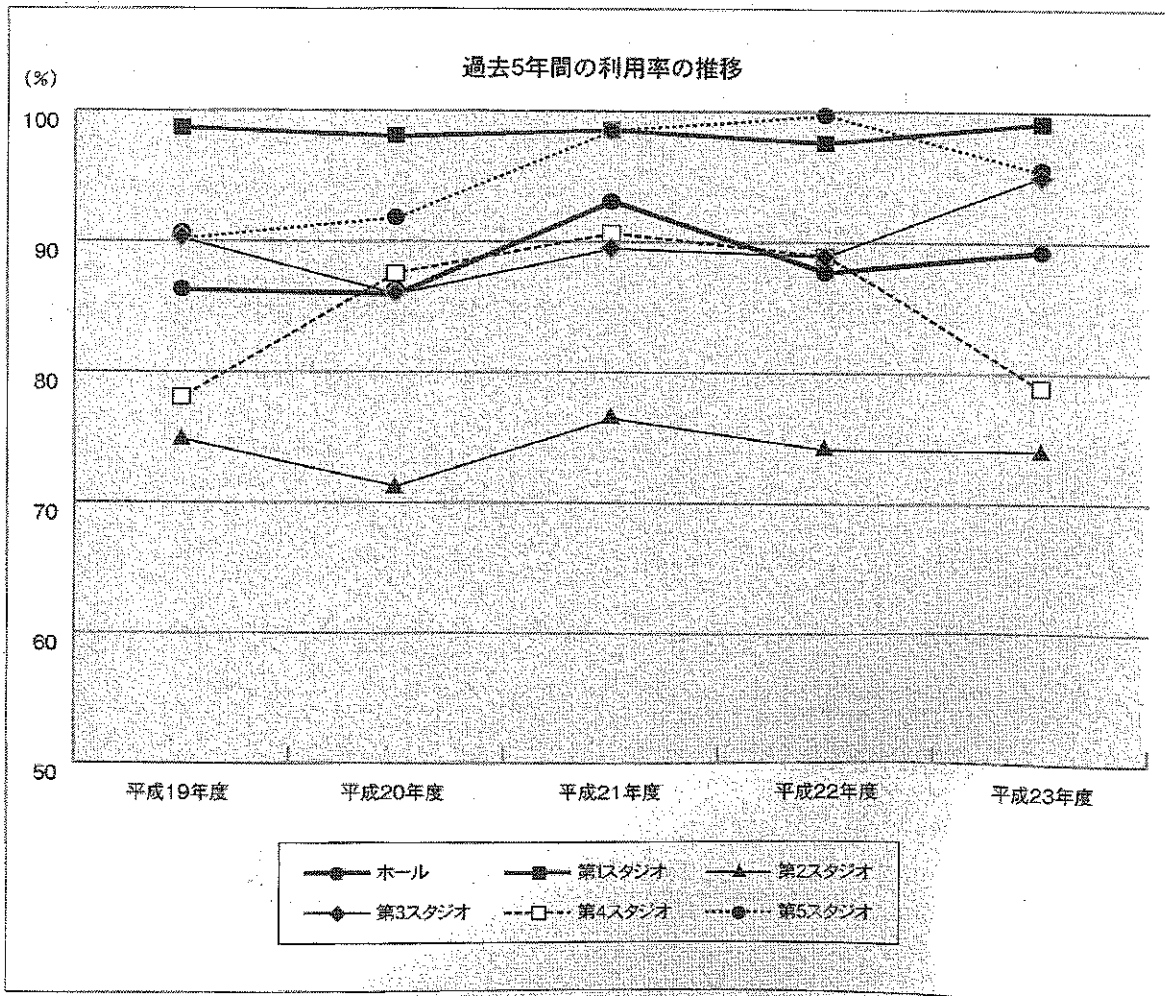
## 8 県立文化施設の利用率 かながわアートホール

利用日数・利用率

(日・%)

	利用施設の内の訳																								
	ホール				第1スタジオ				第2スタジオ				第3スタジオ				第4スタジオ				第5スタジオ				
	利用可能日	利用日数	利用率	空き日	利用可能日	利用日数	利用率	空き日	利用可能日	利用日数	利用率	空き日	利用可能日	利用日数	利用率	空き日	利用可能日	利用日数	利用率	空き日	利用可能日	利用日数	利用率	空き日	
平成19年度	306	306	264	86	42	306	302	99	4	306	229	75	77	306	276	90	30	306	239	78	67	306	276	90	20
平成20年度	306	306	263	86	43	306	300	98	6	306	218	71	88	306	263	86	43	306	268	88	38	306	281	92	25
平成21年度	356	333	310	93	23	342	337	99	5	340	260	77	80	342	306	90	36	342	310	91	32	342	337	99	5
平成22年度	356	333	292	88	41	332	324	98	8	344	255	74	89	344	306	89	38	344	306	89	38	344	343	99	1
平成23年度	357	336	300	89	36	345	342	99	3	343	254	74	89	345	328	95	17	345	272	79	73	345	329	95	16

\* 開館日数の数え方 1年の日数から休館日(年末年始(12月28日~1月4日))を除いたもの  
 \* 利用可能日の数え方 ホール…開館日数から利用対象外日数(計画的な工事日数等)を除いたもの  
 \* 利用率=利用日数/利用可能日数



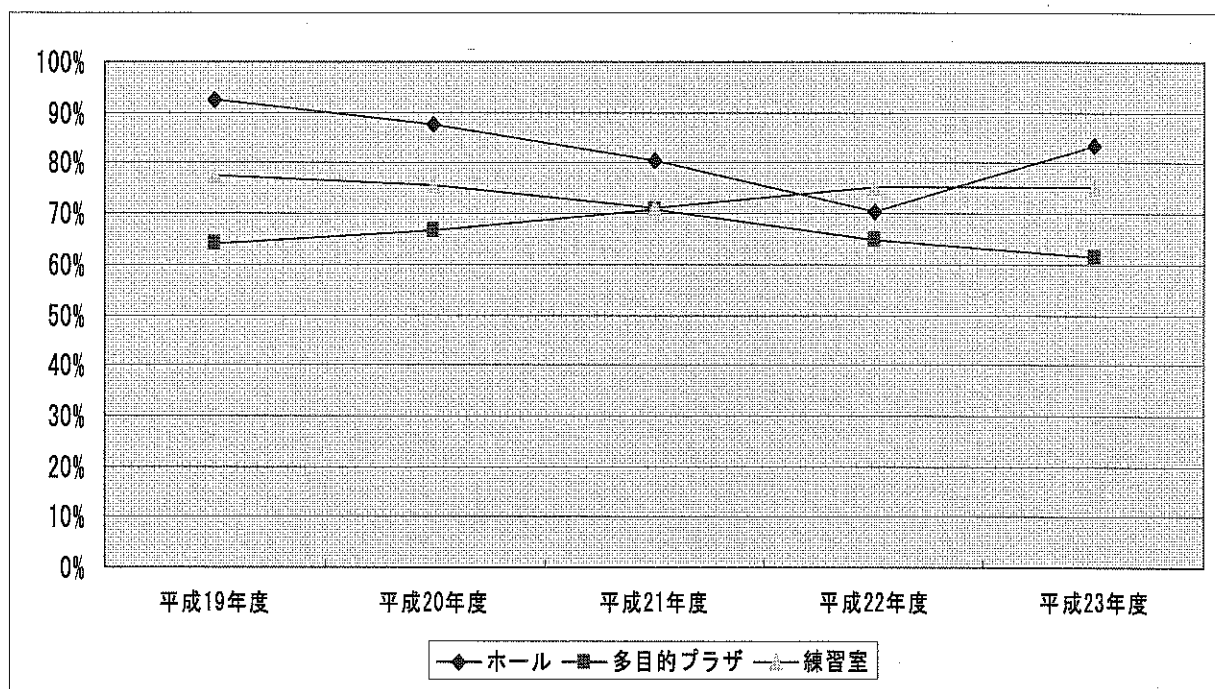
(「平成23年度 かながわアートホール年報」)

9 県立文化施設の利用率 青少年センター

利用日数・利用率

	利用施設の内訳								
	ホール			多目的プラザ			練習室		
	利用可能日数	利用日数	利用率	利用可能日数	利用日数	利用率	利用可能日数	利用日数	利用率
平成19年度	296	274	92.6%	332	213	64.2%	346	269	77.7%
平成20年度	298	261	87.6%	329	219	66.6%	326	247	75.8%
平成21年度	284	229	80.6%	323	228	70.6%	257	183	71.2%
平成22年度	304	214	70.4%	323	209	64.7%	318	239	75.2%
平成23年度	280	234	83.6%	325	200	61.5%	321	241	75.1%

過去5年間の利用率の推移



10 過去1年間に美術鑑賞等の文化芸術の鑑賞・活動を行ったことのある人の割合

	標本数	10歳以上 推定人口 (千人)	総 数	スポーツ 観 覧 (テレビ・ DVDなど は 除く)	美術鑑賞 (テレビ・ DVDなど は 除く)	演 芸・演 劇 ・舞 踊 鑑 賞 (テレビ・ DVDなど は 除く)	映 画 鑑 賞 (テレビ・ ビデオ・ DVDなど は 除く)	音楽会など による クラシック 音楽鑑賞	音楽会など による ポピュラー 音楽・歌謡 曲鑑賞	C D ・ テーブ・ レコード などによる 音楽鑑賞	DVD・ ビデオなど による映画 鑑賞(テレビ からの録 画は除く)	楽器の演奏
全国	178,444	114,061	84.8	18.6	16.5	11.7	35.1	8.6	12.4	47.5	40.5	9.6
北海道	4,848	4,883	85.3	21.5	13.3	9.6	30.1	9.0	12.9	49.0	41.4	9.0
青森県	3,535	1,214	75.0	15.5	16.3	8.1	23.7	6.7	8.1	39.1	36.1	7.2
岩手県	3,002	1,175	79.4	17.6	10.6	11.6	24.1	7.6	12.5	40.3	34.5	8.8
宮城県	2,810	2,085	85.5	24.6	12.3	10.4	34.1	7.9	13.2	50.4	42.6	9.9
秋田県	3,682	965	80.6	18.6	12.9	9.8	22.6	6.0	9.1	38.8	32.9	7.3
山形県	3,986	1,035	81.7	16.7	11.8	8.9	32.5	6.3	9.6	40.7	36.9	7.5
福島県	3,127	1,780	82.4	13.9	11.2	7.3	23.5	7.1	9.0	45.0	36.8	7.5
茨城県	3,854	2,645	83.0	16.6	12.2	8.4	34.7	5.6	9.9	45.1	39.5	8.4
栃木県	3,682	1,785	82.8	15.0	11.9	9.3	35.0	6.8	10.0	43.9	39.2	8.3
群馬県	3,743	1,780	84.5	15.5	13.2	9.3	35.4	7.9	12.2	45.5	37.9	9.1
埼玉県	5,613	6,477	87.9	18.3	16.8	11.9	39.6	9.2	12.8	50.6	42.8	10.5
千葉県	5,005	5,584	86.2	18.2	17.8	12.5	38.5	8.7	12.1	48.9	41.4	10.2
東京都	5,125	11,998	88.5	20.5	23.7	18.3	43.3	12.3	15.8	56.2	48.2	11.9
<b>神奈川県</b>	<b>5,603</b>	<b>8,127</b>	<b>88.7</b>	<b>18.2</b>	<b>21.4</b>	<b>13.8</b>	<b>42.2</b>	<b>10.2</b>	<b>14.5</b>	<b>54.0</b>	<b>43.6</b>	<b>11.0</b>
新潟県	3,829	2,115	80.4	15.9	13.0	8.2	28.0	6.1	9.2	39.1	34.3	6.8
富山県	3,734	967	84.1	17.9	19.1	11.1	36.1	7.7	13.1	44.4	38.5	9.3
石川県	3,497	1,028	84.6	15.0	18.7	10.6	37.7	9.9	11.4	44.5	38.9	8.1
福井県	3,927	709	82.0	15.1	14.3	8.9	33.3	7.5	11.5	42.0	37.8	7.8
山梨県	3,362	767	84.5	18.9	15.7	10.2	30.5	8.4	12.7	44.6	39.8	10.4
長野県	3,660	1,907	84.2	15.8	17.8	9.3	28.2	10.6	13.2	44.6	37.3	10.6
岐阜県	3,651	1,847	83.8	15.9	13.7	10.7	33.4	7.7	10.8	43.4	38.2	8.3
静岡県	3,741	3,343	83.2	17.6	15.5	10.0	30.8	8.0	11.8	43.2	37.7	8.5
愛知県	5,788	6,596	86.6	21.7	16.7	13.1	37.8	9.1	13.5	49.7	42.0	10.8
三重県	3,348	1,646	84.2	16.9	12.5	9.7	33.5	6.3	13.1	46.8	39.6	8.2
滋賀県	3,576	1,251	86.6	15.6	15.4	10.7	37.1	7.6	11.8	48.8	41.7	11.2
京都府	3,406	2,359	84.9	16.5	20.1	14.6	36.4	9.9	12.8	48.4	39.2	9.9
大阪府	5,364	7,936	85.9	18.8	15.0	12.4	39.1	7.6	12.8	48.3	42.7	9.4
兵庫県	4,905	4,979	85.5	20.2	18.6	13.1	37.2	10.0	13.8	47.1	38.3	10.1
奈良県	3,609	1,252	87.1	15.8	18.8	13.4	38.0	8.7	14.1	50.2	40.9	10.4
和歌山県	3,279	890	82.0	14.1	12.0	9.4	30.6	6.1	10.2	42.0	34.0	8.1
鳥取県	3,603	516	80.6	15.7	16.4	8.3	22.6	7.5	9.8	40.7	34.6	8.1
島根県	3,684	629	79.5	17.3	16.8	10.3	23.4	8.6	10.4	38.1	31.3	9.2
岡山県	3,610	1,716	82.5	16.6	15.8	9.3	28.5	7.6	10.9	44.6	36.7	9.3
広島県	3,325	2,524	86.7	27.6	18.4	10.1	34.5	8.8	13.8	47.5	38.9	10.1
山口県	3,272	1,276	84.5	21.9	16.4	9.7	29.4	7.8	11.3	46.7	37.1	9.4
徳島県	3,396	690	79.1	15.3	11.7	9.4	27.1	5.8	9.0	37.2	32.9	7.1
香川県	3,327	877	82.5	13.8	13.7	9.2	29.3	7.4	10.8	42.3	36.4	8.5
愛媛県	3,227	1,263	80.7	14.0	14.4	8.1	27.4	6.4	9.4	42.1	36.0	8.2
高知県	2,783	671	75.7	11.5	13.8	7.1	24.4	5.9	9.2	34.9	34.7	7.4
福岡県	4,487	4,478	83.5	21.7	15.6	11.2	34.5	7.9	11.5	45.9	40.5	7.9
佐賀県	3,658	739	80.8	19.5	13.3	9.8	26.2	7.2	10.8	41.9	35.2	7.9
長崎県	3,508	1,239	79.4	14.3	12.8	8.9	24.3	7.6	9.9	39.6	34.2	6.8
熊本県	3,561	1,590	79.3	17.2	13.4	8.2	29.4	5.1	10.1	38.9	36.4	8.2
大分県	3,163	1,050	81.1	16.7	15.6	7.9	25.4	5.5	9.5	40.3	34.4	7.6
宮崎県	3,040	992	78.7	16.5	9.9	7.2	22.5	6.3	9.5	38.3	33.3	8.0
鹿児島県	3,155	1,485	80.3	16.8	11.7	8.9	26.0	6.3	9.6	41.9	36.9	8.2
沖縄県	3,154	1,203	79.7	16.7	10.4	9.0	31.1	4.7	7.2	43.5	40.7	9.6

	邦楽 (民謡、 日本古来の 音楽を含む)	コーラス・ 声楽	邦舞・ おどり	洋舞・ 社交ダンス	書道	華道	茶道	和裁・洋裁	編み物・ 手芸	趣味 としての 料理・ 菓子作り	園芸・庭い じり・ガー デニング	日曜大工
全国	1.7	2.8	1.6	1.7	4.1	2.0	1.5	6.4	10.1	17.2	26.6	8.9
北海道	1.9	2.1	1.4	1.7	3.4	1.5	1.1	6.9	12.3	17.7	26.2	7.9
青森県	1.4	2.0	1.9	1.1	3.1	2.1	1.8	6.2	9.6	14.2	25.1	8.6
岩手県	1.9	3.0	3.6	0.9	3.2	1.9	1.7	6.7	9.8	16.8	27.9	9.1
宮城県	1.9	2.8	1.7	1.4	4.1	1.1	1.0	7.1	11.6	18.6	28.9	10.1
秋田県	1.8	1.7	1.9	0.8	2.9	2.1	1.6	6.8	9.7	15.6	25.8	9.6
山形県	2.0	2.0	2.0	1.2	3.8	2.2	1.5	5.6	10.5	16.6	28.1	9.1
福島県	1.7	2.3	1.0	1.1	3.9	1.8	1.0	5.7	8.8	14.9	28.1	9.7
茨城県	1.3	2.1	1.7	1.8	4.5	2.0	0.8	6.7	8.9	18.1	29.7	10.7
栃木県	1.1	2.3	1.1	1.7	4.6	1.7	1.3	5.8	8.9	15.1	30.5	9.4
群馬県	1.7	2.5	1.9	1.9	4.1	1.6	1.0	6.2	9.7	17.0	31.1	9.9
埼玉県	1.9	3.1	1.4	2.2	4.4	1.7	1.3	6.4	10.5	17.4	27.5	9.7
千葉県	1.8	3.3	1.4	2.2	3.9	1.6	1.3	6.3	10.5	17.8	29.9	9.1
東京都	2.1	4.1	1.5	2.6	4.0	1.9	2.1	7.0	10.7	19.2	23.3	8.0
<b>神奈川県</b>	<b>1.6</b>	<b>3.4</b>	<b>1.4</b>	<b>2.7</b>	<b>3.9</b>	<b>1.8</b>	<b>1.3</b>	<b>7.4</b>	<b>11.4</b>	<b>19.2</b>	<b>26.8</b>	<b>9.0</b>
新潟県	1.8	1.6	1.6	1.5	3.6	1.7	1.1	5.5	8.5	13.5	26.0	8.2
富山県	2.3	2.2	2.1	1.1	4.9	2.7	2.1	5.7	9.3	16.6	27.3	8.4
石川県	1.7	1.8	1.7	1.3	3.8	2.8	2.2	5.8	9.3	16.0	26.2	8.2
福井県	1.3	1.8	2.0	1.4	3.9	2.4	2.0	5.0	8.8	15.9	24.5	8.5
山梨県	1.7	3.1	2.1	1.6	5.8	2.0	1.6	6.6	11.1	17.0	30.7	10.4
長野県	1.9	3.9	1.6	1.3	4.3	1.6	1.7	6.4	10.9	19.3	31.6	9.9
岐阜県	1.6	2.5	1.7	1.4	4.7	2.3	2.0	5.7	9.2	17.6	28.6	9.5
静岡県	1.7	2.4	1.9	1.1	4.5	2.1	1.2	5.5	9.3	16.8	27.5	8.8
愛知県	1.7	2.6	1.4	1.4	4.3	1.9	1.6	6.6	10.2	16.7	26.2	7.9
三重県	1.4	2.4	2.0	1.1	4.7	2.3	1.6	6.1	8.7	17.2	28.5	9.5
滋賀県	2.0	2.6	1.0	1.3	4.3	2.4	2.1	6.7	9.9	19.2	29.4	11.3
京都府	1.8	3.5	1.3	1.6	4.2	2.8	1.9	6.4	10.6	16.3	23.5	8.7
大阪府	1.8	2.5	1.3	1.5	3.8	2.2	1.7	6.5	9.9	17.0	21.2	8.8
兵庫県	1.2	3.5	1.0	1.3	4.4	2.0	1.4	6.4	11.4	17.3	26.9	8.4
奈良県	1.7	3.3	1.6	1.4	4.8	3.5	2.6	7.0	11.5	20.5	31.5	9.7
和歌山県	0.8	2.1	1.5	1.1	3.8	2.1	1.2	6.5	10.8	16.3	29.3	10.9
鳥取県	1.2	2.6	1.9	1.0	3.8	3.0	2.1	5.7	8.1	16.2	28.2	9.2
島根県	1.8	2.9	2.2	1.0	3.5	3.1	2.0	5.2	10.6	16.8	29.3	9.0
岡山県	1.6	2.0	1.5	1.3	4.1	2.7	2.1	6.0	10.1	17.0	30.2	9.1
広島県	2.1	3.0	1.4	1.4	4.9	3.0	1.6	6.0	10.1	16.1	27.9	9.9
山口県	1.6	3.1	1.7	1.8	4.1	3.0	2.3	6.7	10.7	16.9	31.1	9.6
徳島県	1.6	1.9	3.2	0.7	3.4	2.4	1.7	4.5	7.7	14.3	27.3	8.8
香川県	1.6	2.1	1.8	1.3	4.3	3.0	2.1	5.5	9.9	15.2	29.2	9.4
愛媛県	1.7	1.8	1.6	0.6	3.7	2.4	1.3	6.4	8.7	17.2	29.7	8.8
高知県	1.5	1.8	2.0	1.2	2.9	1.4	1.0	5.5	7.6	13.4	24.3	7.3
福岡県	1.6	2.2	1.5	1.5	4.1	1.9	1.1	6.5	9.4	15.1	23.8	7.2
佐賀県	1.8	1.7	2.0	1.3	4.5	2.5	1.1	5.3	8.1	15.9	26.9	8.4
長崎県	1.3	2.6	2.0	1.2	6.1	1.8	1.2	6.2	10.2	15.4	26.1	9.3
熊本県	1.3	2.0	2.0	1.7	3.7	2.0	1.0	5.2	8.3	16.6	26.9	8.2
大分県	2.2	1.5	2.0	1.1	3.7	1.6	1.5	5.1	9.1	17.7	27.2	7.8
宮崎県	0.8	1.8	1.3	1.0	4.3	1.8	1.1	5.3	7.8	16.5	27.1	9.2
鹿児島県	1.2	2.3	3.3	1.6	3.9	1.5	0.6	5.9	8.6	16.2	28.9	9.7
沖縄県	3.5	1.9	3.1	1.6	3.0	0.9	0.6	4.9	7.2	15.9	20.8	10.2

	絵画・彫刻 の制作	陶芸・工芸	写真の 撮影・ プリント	詩・和歌・ 俳句・小説 などの創作	趣味 としての 読書	囲碁	将棋	パチンコ	カラオケ	テレビゲー ム・パソコ ンゲーム (家庭で行う もの、携帯 用を含む)	遊園地、 動物園、 水族館 などの見物	キャンプ	その他
全国	3.2	2.2	25.0	2.2	39.5	1.3	3.4	10.0	29.0	33.3	31.5	5.5	6.6
北海道	2.7	1.9	24.2	2.0	39.4	1.9	3.4	12.5	29.6	35.7	28.4	8.4	7.2
青森県	1.9	1.8	16.6	1.6	31.0	1.0	2.9	10.7	22.8	27.6	19.1	4.9	5.0
岩手県	2.4	2.0	20.2	1.8	34.2	1.0	2.6	10.1	22.7	27.9	19.2	4.0	4.5
宮城県	3.0	2.4	25.3	2.1	41.6	1.1	4.5	11.7	30.7	32.9	27.0	4.1	6.1
秋田県	1.8	1.6	17.1	1.8	31.2	1.3	2.8	12.0	22.4	26.8	22.8	3.3	5.8
山形県	2.7	2.2	21.1	1.9	32.8	1.2	3.2	8.7	24.3	27.9	23.0	4.6	6.6
福島県	2.4	1.8	21.6	1.9	35.8	1.2	3.7	10.8	25.7	30.2	25.6	3.4	5.8
茨城県	3.0	2.3	23.5	2.1	36.7	1.7	3.5	9.7	27.7	32.0	30.6	3.9	6.6
栃木県	2.8	2.1	24.1	2.1	33.2	0.8	3.0	10.4	26.8	32.3	32.1	3.3	6.1
群馬県	2.5	2.0	24.1	2.0	36.5	1.0	3.3	9.4	28.9	31.4	30.2	4.8	5.7
埼玉県	3.4	2.2	27.2	2.3	42.3	1.1	3.6	8.4	31.5	35.1	34.7	5.6	6.7
千葉県	3.7	2.5	27.2	2.5	43.2	1.6	3.6	8.8	30.0	35.5	34.6	4.5	6.7
東京都	3.8	2.6	31.3	2.8	49.6	1.5	3.4	7.2	34.1	37.1	38.1	5.6	8.2
<b>神奈川県</b>	<b>4.3</b>	<b>2.5</b>	<b>31.5</b>	<b>3.2</b>	<b>48.6</b>	<b>1.4</b>	<b>3.6</b>	<b>8.3</b>	<b>32.3</b>	<b>38.9</b>	<b>37.5</b>	<b>6.0</b>	<b>8.4</b>
新潟県	2.0	1.3	18.7	1.3	32.2	0.6	2.7	9.1	23.6	28.8	23.7	2.9	6.8
富山県	3.3	2.6	21.1	2.4	36.9	1.6	4.1	11.0	26.1	29.8	31.1	4.3	5.5
石川県	2.5	1.4	21.6	2.2	35.7	1.1	2.7	11.2	27.8	32.8	29.9	3.4	5.9
福井県	2.2	1.9	19.4	1.9	32.4	1.0	3.5	13.2	24.9	31.1	27.7	4.0	6.1
山梨県	3.1	2.4	23.8	2.9	35.7	1.1	3.0	9.8	28.8	30.4	28.8	4.0	7.0
長野県	4.0	2.0	23.4	2.8	39.3	1.3	4.0	9.4	27.2	29.8	27.6	5.6	7.0
岐阜県	2.6	2.2	23.5	1.7	34.1	1.3	2.8	11.1	25.9	31.5	29.4	4.9	5.2
静岡県	2.8	1.9	22.4	2.1	36.1	1.1	3.2	11.9	25.6	31.6	32.7	5.4	5.5
愛知県	2.8	2.5	25.7	1.7	38.9	1.3	3.5	12.2	29.5	36.5	35.7	6.6	6.4
三重県	3.1	2.6	23.5	1.8	36.5	1.0	3.4	12.6	26.9	33.2	30.2	6.3	5.7
滋賀県	3.5	2.5	25.9	2.5	39.0	0.9	3.2	10.6	30.1	36.6	32.1	5.7	7.7
京都府	3.7	2.6	25.5	2.6	39.8	1.2	3.9	8.0	29.3	32.9	33.2	5.1	6.4
大阪府	3.3	2.5	25.9	1.9	38.7	1.6	4.0	10.2	31.2	35.7	31.8	7.4	6.6
兵庫県	3.3	2.3	26.5	2.0	41.1	1.6	4.2	9.1	27.3	33.7	34.3	5.2	6.2
奈良県	4.1	2.5	27.1	2.7	43.2	1.8	3.0	8.4	30.6	33.0	32.3	5.7	7.6
和歌山県	2.7	1.7	20.9	2.6	33.4	1.0	2.6	10.5	25.2	30.3	26.6	4.5	5.9
鳥取県	2.6	1.6	19.4	2.3	34.3	1.2	3.4	9.3	22.2	27.2	24.5	3.4	5.7
島根県	2.7	1.8	20.2	1.9	33.0	1.5	3.5	10.8	22.2	27.2	26.6	3.4	4.9
岡山県	3.2	2.1	21.7	2.0	35.1	1.7	3.5	9.0	24.5	31.9	27.2	4.5	6.4
広島県	3.3	2.0	25.3	1.7	38.8	1.4	3.5	11.3	28.3	33.3	34.2	6.5	7.3
山口県	3.0	1.6	23.5	1.9	37.5	1.6	3.2	10.5	26.6	29.8	28.8	4.3	6.4
徳島県	2.7	1.6	18.5	2.4	31.9	1.2	3.7	10.8	24.9	28.2	26.2	3.8	4.8
香川県	2.5	1.8	21.9	1.8	35.9	1.5	4.2	10.0	22.2	29.7	29.1	5.2	5.6
愛媛県	2.7	1.6	20.8	2.4	33.5	1.0	3.4	11.2	26.2	29.8	26.0	4.2	6.3
高知県	2.3	1.7	16.9	2.5	29.3	0.7	2.7	12.0	21.8	25.5	24.9	3.8	5.2
福岡県	3.1	2.0	22.0	2.1	37.5	1.3	2.9	11.6	29.5	31.0	27.4	6.0	6.1
佐賀県	1.9	1.7	18.7	1.5	31.0	1.1	2.7	11.1	23.6	28.4	24.5	3.4	5.1
長崎県	3.1	1.6	20.0	1.8	34.6	1.4	2.2	10.8	24.0	26.1	25.0	4.5	5.1
熊本県	2.5	1.7	21.8	1.4	31.3	0.6	2.2	13.1	27.4	27.7	26.3	5.3	6.2
大分県	2.4	1.7	20.7	2.3	32.1	1.4	2.7	11.6	26.0	28.6	26.6	4.8	5.0
宮崎県	2.3	1.5	20.2	2.0	31.2	1.0	2.8	13.9	26.3	26.5	27.3	5.9	4.5
鹿児島県	2.8	2.6	20.4	2.1	32.9	1.1	4.1	12.6	27.9	26.7	28.2	5.3	5.6
沖縄県	2.1	1.5	17.3	1.7	31.0	1.5	3.4	4.9	35.4	25.5	24.5	6.7	4.6

平成23年「社会生活基本調査」都道府県、趣味、娯楽の種類別行動者

平成23年 社会生活基本調査 調査対象 全国約8万世帯のふだん住んでいる10歳以上の世帯員（第1次抽出単位を平成17年調査の調査区とし、第2次抽出単位を世帯とする層化段抽出法）  
 調査期日 平成23年10月20日（5年ごと）  
 調査方法 調査員による調査票の配布及び収集



### Ⅲ 年次報告のまとめ（文化芸術振興審議会意見）

#### 1 県民の文化芸術活動の充実について

県民の文化芸術活動の充実を図るため、県立音楽堂を皮切りに順次、文化施設を開館してきましたが、平成23年1月には、高度な舞台機構を備えた神奈川芸術劇場が開館し、23年度は初めて通年で事業が行われ、規模、役割など、それぞれの特性を持つ文化施設が揃いました。

これにより、県民ホール本館は、県内最大規模の大ホールを活用したグランドオペラ、グランドバレエ、フルオーケストラ等の大規模公演や貸館としてポップス等、様々なジャンルの公演を、神奈川芸術劇場では演劇、ダンス、ミュージカル等の芸術作品の上演を、県立音楽堂は、音楽専用ホールとして、中編成のオーケストラや室内楽の演奏の提供や学校関係の公演を、青少年センターは、青少年中心の演劇・舞踊の発表、鑑賞や歌舞伎の鑑賞の場の提供を、県立近代美術館は、葉山館、鎌倉館、鎌倉別館の3館で優れた近代美術の鑑賞の場の提供を、神奈川近代文学館では、近代文学に関する文学資料を展示するなど、それぞれの施設で、様々な文化芸術に触れる機会を提供しています。

また、文化芸術団体の育成という意味では、地域の伝統芸能を保存・継承していくために、ボランティア団体と協働で、祭囃子・神楽の普及・啓発を図るためワークショップや鑑賞会を開催する「祭りの音」プロジェクトにも取り組みましたが、今後、こうしたNPO等と協働した事業はさらに重要となっていくものと思われまます。

さらに、こどもの文化芸術活動の充実を図るため、「安心こども基金」を活用し、子どもや子育て中の親がオーケストラの演奏に触れる機会を提供する「神奈川フィル・ファミリークラシック」の事業にも取り組んでいます。次代を担う子どもたちを育む施策については、一層の充実が望まれます。

#### 2 文化資源を活用した地域づくりの推進について

23年1月に開館した神奈川芸術劇場は、「モノをつくる」、「人をつくる」に加え、「まちをつくる」をコンセプトに掲げ、良質な作品を提供することで人が集い、地域の賑わいに貢献するというだけでなく、神奈川県を舞台にした演劇の上演に際しては、観光協会と協力し、劇と関係の深い横浜開港資料館の見学や食事を組み合わせたツアーを実施したり、夜の公演後に、食事ができる店を示した中華街マップを作成・配布するなどの取り組みが進められています。

今後は、神奈川芸術劇場だけでなく、現在、検討が進められている横浜市中区から西区にかけて、集積している文化資源、観光資源を活かした賑わいづくりである「マグカル事業」（カルチャーの持つマグネット力を活かした賑わいづくり、マグネット・カルチャーの略）の効果的な事業展開が望まれます。

また、県内の各地域においても、18年度から湘南地域において、NPO等との協働により、各地に残る邸園等を活用し様々なイベントを行う「湘南邸園文化祭」が開催されたり、23年度には足柄上地域の観光魅力とブランド力を高めるため、アートによる地域おこしを目指した「ASHIGARAアートフェスティバル」が開催されるなどの取り組みが進められておりますが、今後、こうした特色ある地域文化の振興の取り組みの一層の推進が期待されています。

### 3 文化芸術の振興を図るための環境整備

県民ホール本館、神奈川芸術劇場、県立音楽堂、青少年センター等の各施設では、それぞれ特色のあるワークショップを行い、小・中学生等の次代を担う子供たちの育成や、舞台表現者、舞台技術者といった様々な舞台芸術に係る人材の育成など、幅広く文化芸術を下支えしていく人材の育成を図っていますが、今後、さらなるプログラムの充実が望まれます。

また、「マグカル事業」では、開設が予定されているフェイスブック、ポータルサイトにおいて、県、市、民間等の様々な情報を一元的に提供するとともに、コンテンツの充実を図ることで、実効性ある情報発信を行い、県内外から多くの方を呼び込むことで、文化芸術の振興や賑わいの創出が期待されます。

### 4 まとめ

23年度は、22年度末に発生した東日本大震災の影響が残り、公演の中止を余儀なくされる事業等もありましたが、神奈川芸術劇場が初めて通年で事業を行い、多くの鑑賞機会を提供する等、事業の拡充が図られた側面もありました。今後、「真にゆとりと潤いの実感できる心豊かな県民生活の実現」を目指し、さらなる文化施策の充実が望まれます。

一方で、県をはじめ各自治体の財政状況が厳しい中で、文化行政においても民間活力の導入や、文化資源を活用した地域の賑わいづくり等の課題に対する重要性が増してきています。こうした中で、文化資源を活用した賑わいづくりのモデル事業として、「マグカル事業」の取り組みがスタートしていますが、地元との連携を強化し、事業の充実発展を図るとともに、地域展開を進めていくことで「個性豊かで活力に満ちた地域発展」を目指していく必要があります。